

Pioneer

取扱説明書

Bluetooth/CD/USB/チューナーメインユニット

DEH-6400



Made for
 iPhone

■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。

登録は弊社ホームページにて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。

<http://pioneer.jp/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。

必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

お買い上げいただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

carrozeria

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意(警告を含む)しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止(やってはいけないこと)の内容です。	

AU-001-002

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V \ominus アース車専用です
24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

警告



禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す
 \oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。



警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。



注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。



警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がるときに、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

警告



禁止

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れないやけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。



指のケガに注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意するケガの原因となることがあります。

電池は正しく使う

警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなどにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

警告



強制

電池の液漏れが発生した場合は

皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。

注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加熱をしたり、火や水の中に入れてはいけない

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。

指定以外の電池の使用や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する

ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

目次

よくあるお問い合わせ 8

ロータリーコマンドーについて.....	8
時計を設定したいときは.....	8
時計を合わせる.....	8
電源ON時に時計を表示させる.....	8
電源OFF時に時計を表示させる.....	8
色、明るさを変えたいときは.....	8
ディスプレイ、ボタンの色を変えたいときは.....	8
ボタンとディスプレイの明るさを変更する.....	8
ディマーの設定をしたいときは.....	8
Bluetooth機能を使うときは.....	8

初期操作 9

バッテリー上がりを防ぐために.....	9
電源のON / OFFと最初の設定.....	9
リモコンの準備.....	9
電池交換のしかた.....	9
フロントパネルの取り外しかた / 取り付けかた.....	10
フロントパネルの取り外しかた.....	10
フロントパネルの取り付けかた.....	10
ディスクの入れかた / 取り出しかた.....	11
本機をリセットする.....	11

各部の名称と機能 12

本体.....	12
リモコン.....	15
ディスプレイ.....	16

共通操作 17

ソース切り換え.....	17
フォルダーの選択.....	17
曲 / ファイルの選択.....	17
早送り / 早戻し.....	17
ファンクションメニューの操作.....	17

CDを聞く [CD] 18

タイトルやアーティスト名を表示する.....	18
タイトルから曲やフォルダーをさがす.....	19
繰り返し再生する(リピートプレイ).....	19
違う曲順で再生する(ランダムプレイ).....	19
再生を一時停止する.....	19
音を補正して高音質化する (アドバンスド・サウンドレトリバー).....	19

ラジオを聞く [RADIO] 20

放送局を1局ずつ登録する.....	20
複数の放送局を自動的に登録する.....	20
◀◀/▶▶ボタンの動作を設定する.....	20
リストから放送局を選ぶ.....	21

USBを聞く [USB] 21

繰り返し再生する(リピートプレイ).....	21
タイトルやアーティスト名を表示する.....	21
タイトルから曲やフォルダーをさがす.....	21
違う曲順で再生する(ランダムプレイ).....	22
再生を一時停止する.....	22
音を補正して高音質化する (アドバンスド・サウンドレトリバー).....	22

iPhoneを聞く [iPod] 22

聞きたい曲をさがす.....	22
リスト表示をアルファベットで検索する.....	23
タイトルやアーティスト名を表示する.....	23
違う曲順で再生する(シャッフルプレイ).....	23
繰り返し再生する(リピートプレイ).....	23
再生を一時停止する.....	23
音を補正して高音質化する (アドバンスド・サウンドレトリバー).....	23

アプリを操作する 24

再生する.....	24
再生を一時停止する.....	24
音を補正して高音質化する (アドバンスド・サウンドレトリバー).....	24

携帯端末で操作する(マルチディスプレイモード) 25

携帯端末で操作するときのご注意.....	25
接続方法を設定する.....	25
接続メニューを切り換える.....	25
携帯端末での操作を開始する.....	26
接続中のスマートフォンを操作する.....	26

Bluetooth機器の接続 [BT SETTING] 26

Bluetooth 設定メニューを使う.....	26
--------------------------	----

Bluetooth接続メニューの切り換え	26
Bluetooth機器を切り換える/接続を中止する	27
登録済みのBluetooth機器を削除する	27
Bluetooth機器を登録する	27
自動接続を設定する	28
Bluetooth機器からの検出状態を設定する	28
本機のパスコードを変更する	28
本機のBluetooth機器情報を確認する	28
自動ペアリングを設定する	28

保存した設定を読み込む	36
低い音を強調する(バスビートプラスター)	36
小さな音量でも聞きやすくする	36
各ソースの音量をそろえる	37

BT AUDIOを聞く 【BT AUDIO】..... 29

聞きたい曲をさがす	29
再生する	29
再生を停止する	29
音を補正して高音質化する (アドバンスド・サウンドレトリバー)	29
繰り返し再生する(リピートプレイ)	29
違う曲順で再生する(シャッフルプレイ)	29
再生を一時停止する	29
表示を切り換える	30

携帯電話を使う 【PHONE MENU】..... 30

電話に出る・電話を切る	30
着信を拒否する	31
PHONEメニューを切り換える	31
履歴から電話をかける	31
プリセット番号を選んで電話をかける	31
プリセットボタンで電話をかける	32
電話機能を設定する	32
自動着信を設定する	32
着信音を設定する	32
音声認識機能を使う	32

音の調節【AUDIO】..... 33

オーディオメニューを切り換える	33
イコライザーカーブを選ぶ	33
イコライザーカーブを調節する	33
前後の音量バランスを調節する	34
左右の音量バランスを調節する	34
サブウーファーを使う	34
サブウーファーの位相切り換え	34
出力レベルを調節する	34
カットオフ周波数とスロープを調節する	35
リスニングポジションを選ぶ	35
タイムアライメントを設定する	36
タイムアライメントを調節する	36
設定を保存する	36

初期／システム設定 【INITIAL/SYSTEM】... 37

初期設定メニューを切り換える	37
リア出力を設定する	37
本機のソフトウェアのバージョンを確認する	38
本機のソフトウェアを更新する	38
システム設定を工場出荷時に戻す	38
システムメニューを切り換える	38
時計を合わせる	38
時計表示を切り換える	38
ピープ音を設定する	39
サブ表示部の表示を切り換える	39
DOT DISPLAYの表示を切り換える	39
外部機器(AUX)の音声を聞けるようにする	39
デモ画面をOFFに設定する	39
BT AUDIOソースをONにする	39
登録したBluetooth機器のデータを消去する	40
接続する機器と接続方法を選ぶ	40
Pioneer ARCの自動起動を設定する	40
ステアリングリモコンのキー設定をする	40
自動でUSBソースに切り換えるようにする	41

MIXTRAX機能を使う 【MIXTRAX】..... 41

MIXTRAX機能をON/OFFする	41
MIXTRAXメニューを切り換える	41
曲の再生時間を切り換える	41
点滅エリアを切り換える	42
点滅パターンを切り換える	42
画面演出を設定する	42
効果音を設定する	42

イルミネーション機能を使う 【ILLUMINATION】..... 43

イルミネーションメニューを切り換える	43
ボタンの色を選ぶ	43
ディスプレイの色を選ぶ	43
ボタンとディスプレイの色を選ぶ	43
ボタンとディスプレイの色を調節する	44
夜間の本機の明るさを切り換える(ディマー設定)	44
ボタンの明るさを調節する	44
ディスプレイの明るさを調節する	45
電話着信時色を選ぶ	45
イルミネーションをスロー点灯/消灯させる	45

KARAOKE機能を使う

[KARAOKE] 45

マイクを使う	45
マイクの設定をする	45

接続／取り付け 46

接続／取り付け上のご注意	46
接続／取り付け部品を確認する	46
本体関係	46
コード関係	46
マイク関係	46

取り付けの前に知ってほしいこと	47
取り付け上のご注意	47
取り付けのポイント	47

接続の前に知ってほしいこと	47
接続上のご注意	47
接続のポイント	47
コネクタ着脱のポイント	47

バッテリー交換時のご注意	47
--------------------	----

接続する	48
------------	----

本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを 接続する場合	48
本機のRCA出力に外部アンプを接続する場合	50
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを 接続する場合(1)	52
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを 接続する場合(2)	52
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを 接続する場合(3)	53

本体を取り付ける	54
フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた	54

動作を確認する	54
ハンズフリー用マイクの取り付け	55

付録 56

再生可能なメディアとファイルについて	56
メディア内のフォルダー構成について	57

[PHONE CONNECT]の設定値と 対応するソース	58
---------------------------------------	----

マルチディスプレイモード(Pioneer ARC)を 使用していないとき	58
マルチディスプレイモード(Pioneer ARC)を 使用しているとき	58

ディスクについて	59
取り扱い上のご注意	59
お手入れについて	59
保管上のご注意	59
ディスク再生の環境について	59
使用できないディスクについて	60
再生できないディスクについて	60

USB機器について	60
本機との接続について	60
保管上のご注意	60
iPhoneについて	60
本機が対応するiPhone	60
故障かな?と思ったら	61
共通項目	61
ラジオ	61
CD、WMA／MP3／WAV	61
AUX	62
BT AUDIO	62

こんなメッセージが表示されたら	63
共通のエラー表示	63
CD、WMA／MP3／WAVのエラー表示	63
USBのエラー表示	63
iPodのエラー表示	64
APPのエラー表示	64
Bluetoothのエラー表示	64
システムのエラー表示	64

保証書とアフターサービス	65
保証書	65
保証期間	65
修理について	65
補修用性能部品の最低保有期間	65
ご質問、ご相談は	65

商標／著作権など	65
主な仕様	67

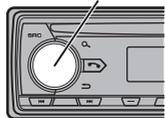
よくあるお問い合わせ

ここでは、よく使う操作や、お問い合わせの多い操作について説明しています。

■ ロータリーコマンダーについて

ここではロータリーコマンダーを  アイコンで記載しています。

ロータリーコマンダー



時計を設定したいときは

■ 時計を合わせる

- 1  を押す
- 2  を回して [SYSTEM] を選び、 を押す
- 3  を回して [CLOCK SET] を選び、 を押す
- 4  を回して「時」を合わせて  を押す
- 5  を回して「分」を合わせて  を押す

■ 電源 ON 時に時計を表示させる

- 1 SRC/OFF ボタンを押してソースを選ぶ
- 2 DISP/TI ボタンを押す
- 3 [CLOCK] を選ぶ
ソース名と時計が表示されます。

■ 電源 OFF 時に時計を表示させる

電源 OFF の状態で DISP/TI ボタンを押す
DISP/TI ボタンを押すごとに
時計の表示 / 非表示が切り換わります。
電源が ON のときの時計表示については、各ソースの説明をご覧ください。



DISP/TI ボタン

 電源 OFF 時に時計を表示させるには、デモを OFF に設定する必要があります。デモを OFF に設定していない場合は、次の手順を行ってください。

- 1  を押す
- 2  を回して [SYSTEM] を選び、 を押す
- 3  を回して [DEMO OFF] を選び、 を押す
- 4  を回して [YES] を選び、 を押す

色、明るさを変えたいときは

■ ディスプレイ、ボタンの色を変えたいときは

- 1  を押す
- 2  を回して [ILLUMINATION] を選び、 を押す
- 3  を回して [COLOR] を選び、 を押す
- 4  を回して [KEY COLOR] または [DISP COLOR] を選び、 を押す

ディスプレイとボタンの色を同時に変えたい場合は [BOTH COLOR] を選びます。

- 5  を押して色を選ぶ

  を押すごとに色が切り換わります。

■ ボタンとディスプレイの明るさを変更する

ボタンやディスプレイの明るさを変更する → 「ボタンの明るさを調節する」(→P44)、「ディスプレイの明るさを調節する」(→P45)

ディマーの設定をしたいときは

ディマーとは、周囲の明るさに合わせて、ディスプレイとボタンの明るさを変更する機能です。時間やボタン操作で切り換えたり、スモールライトの ON/OFF に合わせて明るさを変更するように設定することができます。

ご購入時の設定は、スモールライトを ON にするとディスプレイが暗くなります。OFF にすると明るくなります。

設定の詳細については P44 を参照してください。

Bluetooth 機能を使うときは

本機に Bluetooth 機器を登録する必要があります。「Bluetooth 機器の接続」(→P26) をご覧ください。Bluetooth 機器の登録をしてください。

初期操作

- 本機にiPhoneを接続すると「iPod」と表示されます。対応するiPhoneについて詳しくは(→P60)をご覧ください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチをON(またはACC)にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。

電源のON / OFFと最初の設定

本体の取り付け後、初めて電源を立ち上げたときに、セットアップメニューが自動で起動します。

1 電源をONにする

2 時計を合わせる

ロータリーコマンドを回して、時を合わせます。ロータリーコマンドを押して分に切り換え、ロータリーコマンドを回して分を合わせます。ロータリーコマンドを押します。

3 スピーカーモードを選択する

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。押すと決定されます。

[STANDARD] ⇄ [NETWORK]

機能名	動作内容
STANDARD	スピーカーモードをスタンダードモードに設定します。
NETWORK	スピーカーモードをネットワークモードに設定します。

- スタンダードモード用にスピーカーシステムを構築した場合、ネットワークモードで使用しないでください。また、ネットワークモード用にスピーカーシステムを構築した場合、スタンダードモードで使用しないでください。スピーカーを破損する可能性があります。

スピーカーモードについて

本機にはスタンダードモードとネットワークモードの2種類があります。車のスピーカー設置と接続方法に合わせて選択してください。

スタンダードモード：

一般的なフロント・リアまたはフロント・サブウーファーの4スピーカーシステム、またはフロント・リア・サブウーファーの6スピーカーシステムを構築する場合に選択します。

ネットワークモード：

高・中・低音域のそれぞれの音域(バンド)を専用のアンプとスピーカーで再生する2-way+SW マルチアンプ・マルチスピーカーシステムを構築する場合に選択します。ボタンのピーブ音設定はできません。

4 セットアップメニューを終了する

ディスプレイに「QUIT :YES」と表示されたら、ロータリーコマンドを押します。

- 設定画面に戻る場合は、ロータリーコマンドを回してNOを選びます。

5 電源をOFFにする

SRC/OFF ボタンを長く押します。

再度、電源をONにする場合は、SRC/OFF ボタン(→P12)を押します。

リモコンの準備

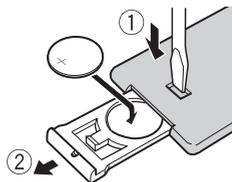
付属のリモコンを使うための準備です。

電池はあらかじめセットされています。電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてお使いください。

リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

■ 電池交換のしかた

リモコンを裏返し、電池ホルダーを引き出して古い電池を取り出します。新しいリチウム電池(CR2025)は、+側を上にしてセットします。





- ・付属の電池は充電できません。
- ・リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。
- ・本機に付属の電池は、日光や火気など過度の熱が当たる場所に置かないでください。

フロントパネルの取り外しかた 取り付けかた

盗難抑制のため、フロントパネルを取り外す(デタッチ)ことができます。



- ・フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- ・取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- ・落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- ・分解しないでください。
- ・ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- ・汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その際、フロントパネルおよび本体の端子部には触らないでください。接触不良の原因となることがあります。
- ・デタッチを行うときは、フロントパネルからAUX/USBケーブルを取り外してください。取り外さなかった場合は、機器や車両の備品が破損するおそれがあります。
- ・安全のため、停車してからデタッチを行ってください。

■フロントパネルの取り外しかた

1 デタッチボタンを押して、ロックを解除する(→P12)

2 フロントパネルの右側を上げ(Ⅰ)、手前に引いて取り外す(Ⅱ)

フロントパネルが外れます。



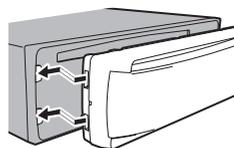
3 フロントパネルを保管する

取り外したフロントパネルは、ケースなどに入れて保管してください。

■フロントパネルの取り付けかた

1 フロントパネルの左側を本体にあわせる

フロントパネルを本体の左側に確実に合わせてください。

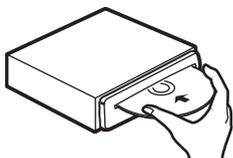


2 フロントパネルの右側を押して、本体に取り付ける



ディスクの入れかた／取り出しかた

1 レーベル面を上にして、CD挿入口に差し込む



取り出すときは、▲ ボタン(→P12)を押します。CDが出てきます。

- CD挿入口には、CD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- 「CD TEXT」や「CD-R/CD-RW」など、文字情報が記録されたディスクでは、ディスクタイトル、曲名などを表示できます(→P18)。
- 本機は、挿入されたディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面には「FORMAT READ」と表示されます。
- 圧縮オーディオファイルと音楽データが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるときは、BAND/▶ ボタンを押します。再生は、それぞれ先頭の曲から始まります。
- 8 cm ディスクには対応しておりません。また、アダプターを装着した8 cm ディスクも絶対に使用しないでください。
- 圧縮オーディオファイルを早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR(可変ビットレート)で録音されたファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。CD挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。
- ▲ ボタンを押してCD再生をやめたときは、自動的に本機の電源がOFFになります。
- 電源がOFFでも、▲ ボタンを押してCDを取り出せます。
- ディスクをセットしたまま、電源をOFFにしたりほかのソースに切り換えたりできます。
- CD/CD-R/CD-RWを使用するときのご注意については、P59をご覧ください。

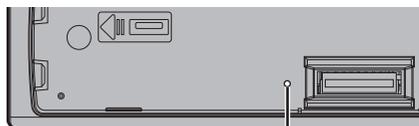
本機をリセットする

次のような場合、リセットボタンを押してください。

- 接続が終わったあと。
- 本機が正しく動作しないとき。
- ディスプレイが正しく表示されないとき。

1 フロントパネルを取り外す(→P10)

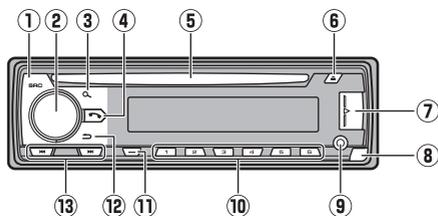
2 8mm以上の細い器具でリセットボタンを押す



リセットボタン

3 フロントパネルを取り付ける(→P10)

本体



① SRC/OFF ボタン

押すと、電源がONになります。
長く押すと、電源がOFFになります。
電源ONのときは、押すごとにソースが切り換
わります (→P17)。

- ディスクをCD 挿入口に差し込むと電源がONに
なります。また、自動でUSBソースに切り換える
ように設定している場合 (→P41)、USBや
iPhoneを接続すると電源がONになります。
- 本機のアンテナコントロール線の接続状態によっ
ては、ラジオが受信できない場合があります
(→P48)。また、オートアンテナ車のアンテナ
を下げる場合は、電源をOFFにしてください。
- 時計を表示させている場合、電源がOFFでも時計
を表示します。

② ロータリーコマンドー

左右に回して音量を調整します。交通情報を受
信中に調整した場合、交通情報用の音量として
設定できます。
携帯端末での操作を開始します (→P25)。
ハンズフリー着信時に左右に回して着信音量を
調節します。また、ハンズフリー着信時に押す
と、電話がつながります (→P30)。
リストやメニュー画面を表示しているときは、
左右に回して項目を選び、押して決定します。

③ ㉑ ボタン

ラジオ受信時:
プリセットチャンネルリストを表示します。

音楽データ / BT AUDIO 再生時:
曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧 (ファイ
ル / フォルダーリスト) を表示します。

圧縮オーディオ再生時:
曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧 (ファイ
ル / フォルダーリスト) を表示します。

- スマートフォンをAOA接続している場合は表示さ
れません。

長く押すとフォルダー01 (ROOT)に戻ります。
フォルダー01 (ROOT)にファイルがない場合
は、次のフォルダーから再生が始まります。

- スマートフォンやUSB機器をAOA/MTP接続し
ているときは操作できません。

iPod再生時 (Pioneer ARCを使用している ときのみ):

ブラウズモードに切り換わります。
ブラウズモード中に押すと、アルファベット
サーチモードに切り換わります。

④ ㊤ ボタン

ソース再生時:
押すとPHONEメニューを表示します
(→P31)。長く押すと、音声認識モードに
入ります (→P32)。

ハンズフリー着信時 / 通話時:
長く押すと着信を拒否 / 押すと通話を切断しま
す (→P30)。

⑤ CD挿入口

レーベル面を上にして、CDを挿入します。

⑥ ▲ ボタン

挿入したCDが出てきます。

⑦ USBポート

カバーを開け、ケーブルを使ってUSB機器や
iPhone、MTP/AOA対応のAndroid™機器を
接続します。

⑧ デタッチボタン

フロントパネルが外れます。

⑨ AUX入力端子

外部機器 (AUX) を接続します。3.5 mm φ ステレオミニジャックをお使いください。

⑩ 1/▲ ~6/▶ ボタン

ラジオ受信時:

登録している放送局に切り換わります (→P20)。

1/▲ (アップ) ボタン

CD、USB ソースのときに押すと、次のフォルダーやアルバムに切り換わります (→P17)。

2/▼ (ダウン) ボタン

CD、USB ソースのときに押すと、前のフォルダーやアルバムに切り換わります (→P17)。

3/MIX ボタン

USB、iPod (Pioneer ARC を使用しているときのみ) ソースのときに押すと、MIXTRAX 機能が ON/OFF 切り換えできます (→P41)。

4/▶/|| (再生/一時停止) ボタン

CD、USB/iPod、ANDROID、APP、BT AUDIO ソースのときに押すと、再生/一時停止できます (→P19)。

5/⊗ (ランダム) ボタン

CD、USB、BT AUDIO ソースのときに押すと、ランダムプレイを ON/OFF できます (→P19)。

6/▶ (リピート) ボタン

CD、USB/iPod、BT AUDIO ソースのときに押すと、再生範囲の設定を切り換えることができます (→P19)。

プリセットボタンとして使用:

各ボタンに放送局を登録し、押すと受信できます (→P20)。

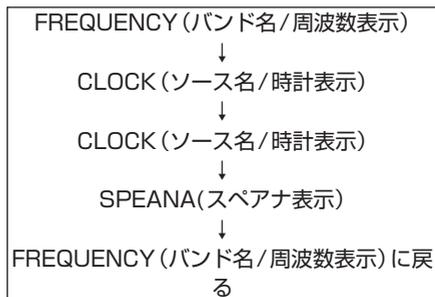
各ボタンに電話番号を登録し、押すと電話をかけられます (→P31)。

⑪ DISP/TI ボタン

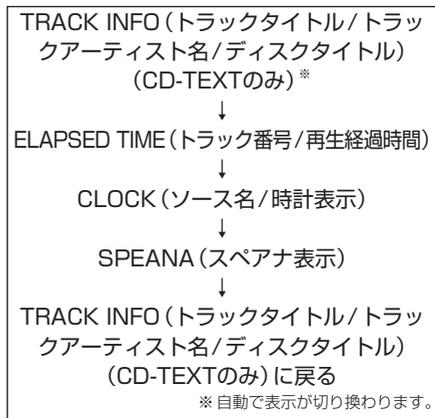
ソース再生時:

ディスプレイの表示を次のように切り換えます。

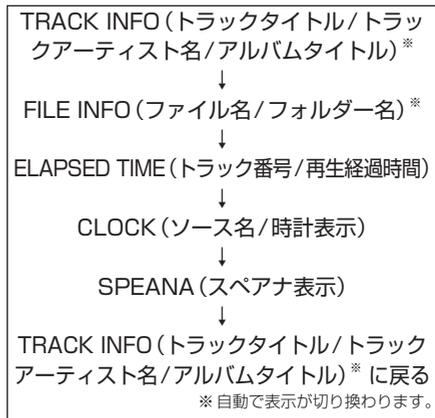
ラジオ



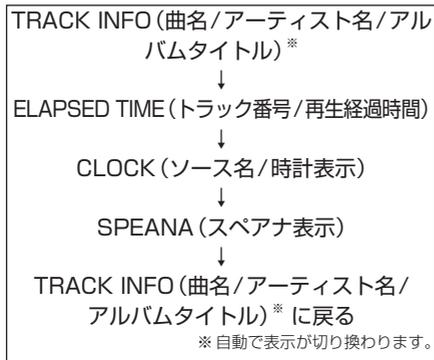
CD-DA/CD-TEXT



WMA/MP3/WAV ファイル



iPod



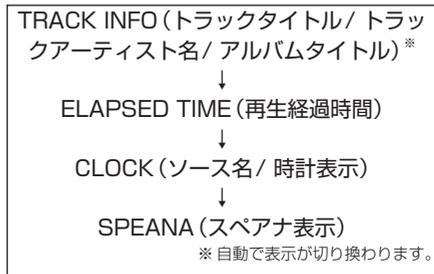
APP



BT AUDIO



ANDROID



電源 OFF 時：

ディスプレイに時計が表示されます。長く押しすと、高速道路などで放送されている交通情報を受信します。

電源 OFF 時以外：

長く押しと、高速道路などで放送されている交通情報を受信します。交通情報受信時に押しと、周波数表示と時計表示が切り換わります。

⑫ BAND/↶

CD / USB / iPod / APP / BT AUDIO のリスト表示中：

前のリスト(1つ上の階層のフォルダー)に戻ります。長く押しと、ふだんの再生画面に戻ります。

メニュー画面や項目リストのアルファベット検索画面を表示しているとき：

1つ前の画面に戻ります。



- VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。
- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、「NO TITLE」や「NO NAME」などが表示されます。
- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- WMP11 を使用して WAV ファイルをエンコードしたときに、WAV ファイルのファイル名などを表示できません。
- 音楽データや WMA / MP3 / AAC / WAV ディスク以外では、タイトルは表示しません。
- MP3 ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- 本機が表示できない文字が iPhone に記録されている場合、その文字は表示されません。

ふだんの再生画面時や電源 OFF の時計表示中：夜間のディスプレイの明るさを切り換えます。

ボタンを長く押しすごとにON/OFFが切り換わります(→P44)。

ラジオ受信時:

バンドを次のように切り換えます。

FM-1 → FM-2 → AM-1 → AM-2 → FM-1に戻る
放送局リストを表示している場合は、ふだんの受信画面に戻ります(30秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります)。

音楽データと圧縮オーディオファイルが混在したCDの再生時:

再生するファイルを切り換えます。切り換え後は、それぞれ先頭の曲から再生します。

マスターストレージクラス対応のメモリデバイスが複数あるUSBの再生時:

再生するメモリデバイスを切り換えます。切り換えられるメモリデバイスの数は32までです。

ANDROIDソース時:

押しすと、再生/一時停止できます。

APPソース時:

iPhoneやスマートフォンのアプリケーションで再生中の曲を、一時停止します。もう一度押しすと、再生が再開します。

メニュー画面を表示しているとき:

メニューを解除します。(初期設定メニューや電源OFFの状態から操作したシステムメニューを解除すると、電源がOFFになります。)

MIXTRAX 演出画面を表示中:

表示を解除し、通常の画面表示に切り換えます。

BT AUDIOソース時:

ふだんの再生画面で押しすと、再生が始まります。

音声認識モード時:

押しすと音声認識モードを解除します。

13 ◀▶/▶▶ ボタン

ラジオ受信時:

押しすと、周波数を手動で選局し、押すたびに周波数を送ります。長く押しすと、受信可能な放送局が見つかるまで自動で周波数を送ります。押し続けると、途中の放送局を飛ばし、離れたところから自動選局を開始します。プリセットチャンネル(登録した放送局)を選ぶ場合は、ボタンの動作設定を「PCH」に設定します(→P20)。この場合、プリセット番号順に選局します。

交通情報受信時:

1 620 kHz / 1 629 kHzが切り換わります。

CD / USB / iPod / APP再生時:

押しすと、曲が切り換わります。押し続けると、早送り/早戻しを行います。再生しているオー

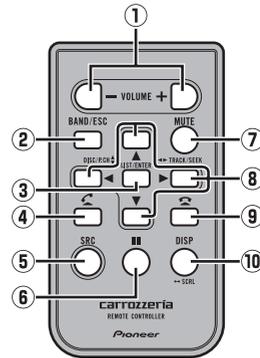
ディオブック、Podcastやビデオファイルなどにチャプターがある場合、押してチャプターが選べます。



・早送り/早戻ししているときには、音声は出力されません。

リモコン

リモコンで本機を操作できます。



① VOLUME ボタン

音量を調整します。

② BAND/ESC ボタン

ラジオ受信時 / iPod再生時 / APPソース時 / BT AUDIO再生時 / ANDROIDソース時:
押した場合は本体の②と同じ働きをします(長く押しして操作することはできません)。

CD再生時:

押した場合は本体の②と同じ働きをします。長く押しすと、フォルダー01(ROOT)に戻ります(圧縮オーディオ再生時のみ)。

USB再生時:

押しすと、マスターストレージクラスを切り換えます(MSC接続のみ)。
長く押しすと、フォルダー01(ROOT)に戻ります(MSC/MTP接続時のみ)。

③ LIST/ENTER ボタン

本体の③と同じ働きをします。

④ OFF HOOK ボタン

ハンズフリー着信時に押しすと、電話がつながります。

⑤ SRC (SOURCE) ボタン

本体の①と同じ働きをします。

⑥ II(ポーズ) ボタン

再生を一時停止します。

⑦ MUTE ボタン

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音を消せます。

もう一度押すと、解除されます。

⑧ ▲/▼/◀/▶ ボタン

◀/▶ ボタンは USB / iPhone 再生時に、本体の⑩と同じ動きをします。ラジオ受信時は、本体の⑩の動作設定が「MAN」に設定されている場合の⑩と同じ動きをします。

▲/▼ ボタンは各種メニューの項目でリストを選択できます。▶ ボタンで項目を決定、◀ ボタンで前の画面に戻ります。ラジオ受信時は、押すとプリセット番号順に選局します。押し続けると、プリセット番号を順番に送り、離れたところのプリセット番号を選局します。ハンズフリー通話時に押すと、通話を切断します。

⑨ ON HOOK ボタン

ハンズフリー着信時に長く押すと、着信を拒否します。

⑩ DISP/SCRL ボタン

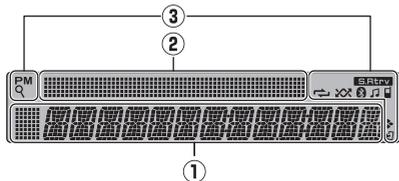
本体の⑪を押したときと同じ動きをします。

③ インジケーター表示部

再生状態などを示します。

🔍	リストを表示しているときに点灯します。
🔀	ランダム再生時に点灯します。 (BT AUDIO 再生時は点灯しません)
🔄	リピート再生時に点灯します。(BT AUDIO 再生時は点灯しません)
▶	メニュー表示で下位階層があるときに点灯します。
📶	Bluetooth 機器接続時に点灯します。
PM	サブ表示部に時計を表示していて(12時間表示)、午後の時間が表示されるときに点灯します。
S.Rtrv	アドバンスド・サウンドレトリバーの設定がONのときに点灯します。
📞	接続されたBluetooth機器が携帯電話のときに点灯します。
🎵	接続されたBluetooth機器がBT AUDIOのときに点灯します。

ディスプレイ



① メイン表示部

ソースやメディア・圧縮フォーマットなどによって、異なる情報を表示します。

ラジオ：バンドと周波数

オーディオ CD、WMA / MP3 / WAV /

FLAC、iPod、APP：トラック番号と再生経過

時間

各種メニュー：各種の設定内容などを表示します。

② サブ表示部

ラジオ：電波の受信レベル

WMA / MP3 / AAC / WAV、iPod、APP：

再生音と連動するレベルメーター

共通操作

ソース切り換え

ソースとは、SRC/OFF ボタンを押すと切り換わる、CDやラジオなどの音源のことです。

1 本機の電源をONにする (→P9)

2 ソースを切り換える

SRC/OFF ボタンを押すごとに切り換わります。
RADIO (FM/AM) → CD → USB / iPod /
USB MTP / ANDROID APP(AOA) / APP
→ AUX → BT AUDIO (Bluetooth オーディオ)
→ RADIO (FM/AM)

- Pioneer ARCを使って本機を操作しているときは、使用している機器によって切り換えることができないソースが異なります。また次の場合、該当のソースには切り換わりません。
 - 対応する機器を接続していない
 - ディスクをセットしていない
 - AUXソースをOFFにしている
 - BT AUDIOソースをOFFにしている
- Pioneer ARCの接続状況や接続機器によって表示されるソースは異なります。

フォルダーの選択

圧縮オーディオ再生時は、フォルダーが選べます。

次のフォルダーを選ぶ

1/▲ボタンを押します。

前のフォルダーを選ぶ

2/▼ボタンを押します。

- 圧縮オーディオファイル再生時は、Q ボタンを長く押すと、フォルダー01 (ROOT)に戻ります。フォルダー01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

曲／ファイルの選択

次の曲／ファイルを選ぶ

▶▶ボタンを押します。

前の曲を選ぶ

◀◀ボタンを押します。

早送り／早戻し

早送りする

▶▶▶ボタンを押し続けます。

早戻しする

◀◀◀ボタンを押し続けます。

- 圧縮オーディオファイルを早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

ファンクションメニューの操作

現在選択中のソースに応じた便利な機能を使うことができます。

1 ファンクションメニューを表示する

電源ONの状態、ロータリーコマンドーを押します。

ロータリーコマンドーを回してFUNCTIONを選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

CDの場合： [S.RTRV]

ラジオの場合： [BSM] ⇄ [SEEK]

USBの場合： [S.RTRV]

iPodの場合： [SEL DEVICE]* ⇄ [S.RTRV]

ANDROIDの場合：

[S.RTRV]

APPの場合： [SEL DEVICE]* ⇄ [PAUSE] ⇄ [S.RTRV]

BT AUDIOの場合：

[SEL DEVICE] ⇄ [PLAY] ⇄

[STOP] ⇄ [S.RTRV]

AUXの場合： [S.RTRV]

※ 1. USB接続の場合は表示されません。

機能名	動作内容
S.RTRV	デジタル信号処理を用いて圧縮音楽の音質を補正する機能です。失われた音を補間して、高音質再生を実現します(→P19)。操作方法はCD、USB、iPod、APPで共通です。
BSM	受信状態の良い放送局を自動でさがして登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます(→P20)。
SEEK	ラジオソース時の◀◀/▶▶ボタン動作を設定できます(→P20)。
SEL DEVICE	接続する機器を選びます。
PAUSE	APPソース時、曲の再生を一時停止できます(→P24)。
PLAY	BT AUDIOの再生が始まります。
STOP	BT AUDIOの再生が停止します。

CDを聞く [CD]

タイトルやアーティスト名を表示する

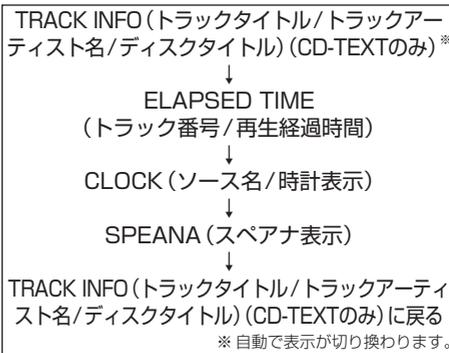
トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示できます。

- 操作が終了したら、BAND/◀▶ボタンを長く押し続けてください。ふだんの再生画面に戻ります。

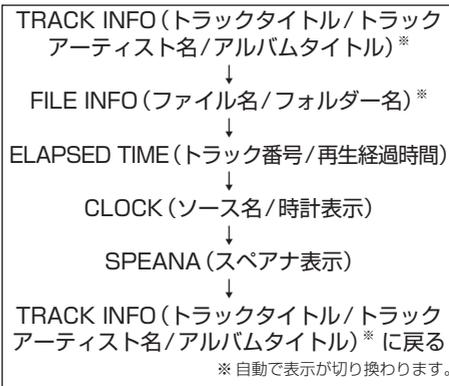
1 表示を切り換える

DISP/TIボタンを押すごとに切り換わります。

音楽データ (CD-DA/CD-TEXT) を再生しているとき



WMA / MP3 / WAVを再生しているとき



- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、「NO TITLE」や「NO NAME」などが表示されます。

- CD-R / CD-RW ディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、表示されない場合があります。(音楽データ (CD-DA) 再生時)
- ファイルをエンコード / ライティングしたアプリケーションによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- WMP11 を使用して WAV ファイルをエンコードしたときに、WAV ファイルのファイル名などを表示できます。
- 「CD-TEXT」や「CD-ROM」など、文字情報が記録されたディスク以外では、タイトルは表示されません。
- MP3 ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

WMA / MP3 / WAVを再生しているとき

[ALL] → [ONE] → [FLD] → [ALL] に戻る

機能名	動作内容
ALL	いま聞いているディスクを繰り返し再生する。
ONE	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
FLD	いま聞いているフォルダーを繰り返し再生する。



- 選んだ再生範囲は、ランダムプレイの再生範囲に影響します。
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲だけを再生します。サブフォルダー内の曲は、再生しません。

タイトルから曲やフォルダーをさがす

音楽データ (CD-DA) や圧縮オーディオの再生中に、トラック番号や曲名、ファイル名、フォルダー名の一覧 (トラック / ファイル / フォルダーリスト) を見ながら、聞きたい曲、ファイル、フォルダーを選べます。

1 トラック番号やトラック / ファイル / フォルダーリストを表示する

🔍 ボタンを押します。

2 トラック番号、曲名、ファイル名、フォルダー名を切り換える

ロータリーコマンドを回します。

3 フォルダー内のフォルダー / ファイルを表示する

フォルダー表示時に、ロータリーコマンドを押します。

再生したいトラック / 曲 / ファイルが見つかったら、ロータリーコマンドを押します。



- トラック番号やトラック / フォルダー / ファイルリストは、必ず先頭・ROOTから表示されます。
- フォルダーが表示されているときにロータリーコマンドを長く押すと、そのフォルダー内のはじめの曲から再生されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、「NO FILES」と表示されます。ロータリーコマンドを押しても再生されません。

繰り返し再生する (リピートプレイ)

1 再生範囲を切り換える

6 / を押しごとに切り換わります。

CDを再生しているとき

[ALL] (ディスクリート) ⇄ [ONE] (トラックリピート)

違う曲順で再生する (ランダムプレイ)

1 ランダムプレイする範囲を選ぶ

リピートプレイで選んだ範囲でランダムに再生されます (→P19)。

2 設定を切り換える

5 / ボタンを押すと、次の曲からランダムに再生されます。もう一度押すと OFF になります。



- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定を ON にすると、再生範囲が次のように切り換わります。
 - CD: ディスクリピート
 - 圧縮オーディオファイル: フォルダーリピート
- ランダムプレイ中に曲を変更する場合は、▶▶ ボタンを押して切り換えてください。◀◀ ボタンを押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

再生を一時停止する

1 設定を切り換える

4 / ▶▶ / || ボタンを押すと、一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

音を補正して高音質化する (アドバンスド・サウンドレトリバー)

1 ファンクションメニューから [S.RTRV] を選ぶ (→P17)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

[OFF] → [1] → [2] → [OFF] に戻る



- 音楽データ (CD-DA/CD-TEXT) を再生しているときは使用できません。
- 1 は低圧縮率の音声、2 は高圧縮率の音声に適しています。

ラジオを聞く [RADIO]

放送局を1局ずつ登録する

1/△～6/◀のボタンを使って、よく聞く放送局を1局ずつ手で登録できます (プリセットチャンネル)。登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 登録するバンド、登録したい放送局を選ぶ (→P15)

2 放送局を登録する

1/△～6/◀のボタンを長く押します。登録動作中にプリセット番号が点滅します。登録が完了するとプリセット番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

複数の放送局を自動的に登録する

1 登録するバンドを選ぶ (→P15)

2 ファンクションメニューから [BSM] を選ぶ (→P17)

3 自動登録を開始する

ロータリーコマンドを押します。登録が完了すると、1の番号に登録された放送局を受信します。



- BSMとは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。
- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

◀◀/▶▶ボタンの動作を設定する

1 ファンクションメニューから [SEEK] を選ぶ (→P17)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

[MAN] ⇄ [PCH]

機能名	動作内容
MAN	手動で選局する。
PCH	登録した放送局を切り換える。

リストから放送局を選ぶ

登録したプリセットチャンネルのリストから放送局を選ぶことができます。

1 プリセットチャンネルリストを表示する

Q ボタンを押します。

2 放送局を選ぶ

ロータリーコマンドナーを回して放送局を選び、押します。

USBを聞く (USB)



- 本機は、接続されたUSB機器から情報を読み取ります。この間、画面には、「FORMAT READ」と表示されます。USB機器の情報量によっては、再生までに時間がかかる場合があります。
- USB機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチがACCまたはONIになっているときにUSB機器のバッテリーが充電されます。
- USB機器を接続したまま、電源をOFFにしたり他のソースに切り換えることができます。
- USB機器は、いつでも取り外すことができます。
- USB機器を取り外すことで、再生を終了することもできます。
- MTP接続とAOA接続の切り換えは、接続モードの設定で行ってください(→P40)。
- MTP対応のAndroid機器(Android OS 4.0以上搭載)は、USBソースでMTP接続ができます。Android機器に付属のケーブルを使って接続します。ただし、接続した機器、機器に保存してあるファイル数やオーディオファイルによっては、再生できない場合があります。

繰り返し再生する(リピートプレイ)

操作方法はCDの場合と同じです(→P19)。

切り換わる範囲は以下の通りです。

[ALL] → [ONE] → [FLD] → [ALL] に戻る

機能名	動作内容
ALL	すべての曲を繰り返し再生する。
ONE	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
FLD	いま聞いているフォルダーを繰り返し再生する。



- スマートフォンをAOA接続している場合は表示されません。

タイトルやアーティスト名を表示する

操作方法はCDの場合と同じです(→P18)。

タイトルから曲やフォルダーをさがす

操作方法はCDの場合と同じです(→P19)。



- スマートフォンをAOA接続している場合は表示されません。

違う曲順で再生する(ランダムプレイ)

操作方法はCDの場合と同じです(→P19)。



- ・スマートフォンをAOA接続している場合は表示されません。

再生を一時停止する

操作方法はCDの場合と同じです(→P19)。

音を補正して高音質化する(アドバンスド・サウンドレトリバー)

操作方法はCDの場合と同じです(→P19)。

iPhoneを聞く [iPod]



- ・本機に接続する前に、iPhoneからヘッドホンを外してください。
- ・iPhoneを使用するときのご注意やiPhoneの設定については、**P60**をご覧ください。
- ・iPhoneを接続したまま、他のソースに切り換えることができます。
- ・iPhoneは、いつでも取り外すことができます。
- ・エンジンスイッチがACCまたはONになっている場合、iPhoneのバッテリーが充電されます。
- ・iPhoneの電源をOFFにするには、ケーブルを取り外します。

聞きたい曲をさがす

プレイリスト、アーティスト、アルバム、曲、Podcast(ポッドキャスト)、ジャンル、作曲家、オーディオブックの項目別リストから、好みの曲を選んで再生できます。(ブラウズモード)
Pioneer ARCを使用してください。



- ・iPhoneに保存してあるファイルの数によっては、項目の表示に時間がかかる場合があります。
- ・本機が表示できない文字がiPhoneに記録されている場合、その文字は表示されません。

1 ブラウズモードにする

Qボタンを押します。

2 項目を選ぶ

ロータリーコマンドを回します。押すと決定します。

必要に応じて項目を絞り込んでください。

再生したい曲が見つかったら、ロータリーコマンドを押します。



- ・アルファベット順に表示する項目のときに、Qボタンを押すと、アルファベットサーチモードになります(→P23)。

リスト表示をアルファベットで検索する

項目別リスト表示中に、頭文字のアルファベットを指定して検索できます。

- アルファベット順に表示されるリストのときに操作できます。
- 頭文字が、半角のアルファベットまたは数字でiPhoneに記録されているものが対象です。

1 タイトルやアーティスト名などのリストを表示する (→P23)

2 アルファベットサーチモードに切り換える

リスト表示中にQボタンを押します。
もう一度Qボタンを押すと、アルファベットサーチモードを解除します。

- ロータリーコマンドを2回連続で回して、入力画面を表示することもできます。

3 検索したいアルファベットを表示する

ロータリーコマンドを回してアルファベットを選び、押します。選んだアルファベットを先頭にして、リストが表示されます。

タイトルやアーティスト名を表示する

操作方法はCDの場合と同じです (→P18)。

- 操作が終了したら、BAND/◀ボタンを長く押してください。ふだんの再生画面に戻ります。

切り換わる内容は以下の通りです。

TRACK INFO (曲名/アーティスト名/
アルバムタイトル)*

↓
ELAPSED TIME

(トラック番号/再生経過時間)

↓
CLOCK (ソース名/時計表示)

↓
SPEANA (スピーアナ表示)

↓
TRACK INFO (曲名/アーティスト名/
アルバムタイトル)* に戻る

* 自動で表示が切り換わります。

- 本機が表示できない文字がiPhoneに記録されている場合、その文字は表示されません。

違う曲順で再生する(シャッフルプレイ)

1 設定を切り換える

5/🔀 ボタンを押すごとに切り換わります。
[OFF] → [SNG] → [ALB] → [OFF] に戻る

機能名	動作内容
OFF	ランダムに再生しない。
SNG	いま聞いているリスト内の曲をランダムに再生する。
ALB	アルバムをランダムに選び、選んだアルバム内の曲を順番通りに再生する。

繰り返し再生する(リピートプレイ)

操作方法はCDの場合と同じです (→P19)

切り換わる範囲は以下の通りです。
[ONE] → [OFF] → [ALL] → [ONE]

機能名	動作内容
OFF	繰り返し再生しない。
ONE	いま聞いている曲を繰り返し再生する。
ALL	いま聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生する。

再生を一時停止する

操作方法はCDの場合と同じです (→P19)。

音を補正して高音質化する(アドバンスド・サウンドレトリバー)

操作方法はCDの場合と同じです (→P19)。

アプリを操作する

iPhoneまたはスマートフォンのアプリケーションを再生中に、本機でコントロールできます。



- iPhoneまたはスマートフォンやアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Bluetoothを使って接続する場合、Bluetooth機器として、あらかじめ本機に登録しておく必要があります(→P27)。
- iPhoneの場合
 - iOS 5.0以上の搭載が必要です。
 - 本機に接続する前に、iPhoneからヘッドホンを外してください。
 - iPhoneを使用するときのご注意やiPhoneの設定については、P60をご覧ください。
 - iPhoneを接続したまま、本機の電源をOFFにしたり他のソースに切り換えたりできます。
 - iPhoneは、いつでも取り外すことができます。
 - エンジンスイッチがACCまたはONになっている場合、iPhoneのバッテリーが充電されます。
 - iPhoneの電源をOFFにするには、ケーブルを取り外します。
- スマートフォンの場合
 - Android OS 2.3以上の搭載が必要です。

再生を一時停止する

ファンクションメニューを使って一時停止する方法です。

1 ファンクションメニューから [PAUSE] を選ぶ (→P17)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すと、一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

音を補正して高音質化する(アドバンスド・サウンドレトリバー)

操作方法はCDの場合と同じです(→P19)。

再生する

本機と接続し、iPhoneまたはスマートフォンを操作して曲を再生状態にした後、本機でコントロールします。

1 接続する機器と接続方法を選ぶ (→P40)

2 APPソースに切り換える (→P17)

再生が始まります。



- コントロールは本機のボタンで行います。

携帯端末で操作する(マルチディスプレイモード)

iPhoneまたはスマートフォンにインストールしたPioneer ARC(アドバンスドリモートコントロール)を使って本機を操作することができます。操作方法について詳しくは、Pioneer ARCのヘルプをご覧ください。

Pioneer ARCは、Google Play™(Google Playストア)またはApp Storeからダウンロードしてください。



検索キーワードを入力する場合は、「パイオニアARC」と入力することをお勧めします。



- 本書では、Pioneer ARC(アドバンスドリモートコントロール)をPioneer ARCと表記している場合があります。
- iPhoneで本機を操作する場合は、iPhone 5以上を使用してください。
- 使用するスマートフォンによっては、操作できない場合があります。

- iPhoneをUSB接続する場合
 - iOS 8.0以上の搭載が必要です。
 - 本機に接続する前に、iPhoneからヘッドホンを外してください。
 - iPhoneを使用するときのご注意やiPhoneの設定については、P60をご覧ください。
 - iPhoneを接続したまま、本機の電源をOFFにしたり他のソースに切り換えたりできます。
 - iPhoneは、いつでも取り外すことができます。
 - エンジンスイッチがACCまたはONになっている場合、iPhoneのバッテリーが充電されます。
 - iPhoneの電源をOFFにするには、ケーブルを取り外します。
- iPhoneをBluetooth接続する場合
 - iOS 8.0以上の搭載が必要です。
 - Bluetooth機器として、あらかじめ本機に登録しておく必要があります(→P27)。
- スマートフォンをBluetooth接続する場合
 - Android OS 4.1以上の搭載が必要です。
 - Bluetooth機器として、あらかじめ本機に登録しておく必要があります(→P27)。
 - BluetoothのプロファイルSPPの搭載が必要です。
- スマートフォンをUSB接続する場合
 - Android OS 4.1以上の搭載が必要です。
 - AOA 2.0の対応が必要です。
- 使用するスマートフォンによっては、Android OS 4.1以上を搭載していても、音が出なかったり、正常に操作できない場合があります。

携帯端末で操作するときのご注意

運転者は走行中に携帯端末を操作しないでください。

運転中に携帯端末を手で保持して操作すると罰則の対象となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

接続方法を設定する

- 操作や設定が終了したら、BAND/ ボタンを長く押ししてください。ふだんの再生画面に戻ります。

■ 接続メニューを切り換える

- 1 接続する機器と接続方法を選ぶ(→P40)

携帯端末での操作を開始する

スマートフォンの場合、Pioneer ARCを自動で起動するように設定しているときは、必要ありません(→P40)。

1 携帯端末のPioneer ARCを起動する



Bluetooth接続の場合、ロータリーコマンダーを長く押し続けて操作を開始することもできます。

接続中のスマートフォンを操作する

USB 接続しているスマートフォンを本機で操作することができます。

1 ANDROIDソースに切り替える

SRC/OFF ボタンを押すごとに切り換わります。

2 本機で操作する

曲/ファイルの選択(→P17)。や早送り/早戻し(→P17)。ができます。また、再生/一時停止(→P19)。できます。

Bluetooth 機器の接続 [BT SETTING]

BT AUDIOを聞いたり、ハンズフリー操作をしたり、スマートフォンでアプリ操作をするには、Bluetooth接続が必要です。接続する機器側の操作方法については、接続する機器の説明書をご覧ください。



- Bluetooth機器の登録は、接続する機器側から本機を検出して簡単に行うことができます。
- 本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。
 - GAP (Generic Access Profile)
 - HFP (Hands Free Profile) ver. 1.6
 - PBAP (Phone Book Access Profile)
 - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
 - AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) ver. 1.5
 - SPP (Serial Port Profile) ver. 1.1

Bluetooth 設定メニューを使う



操作や設定が終了したら、BAND/  ボタンを長く押し続けてください。ふだんの再生画面に戻ります。

Bluetooth接続メニューの切り換え

1 PHONEメニューから [BT SETTING] を選ぶ(→P31)

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

[DEVICELIST]*1 ⇄ [DEL DEVICE]*1 ⇄
[ADD DEVICE]]*2 ⇄ [A.CONN] ⇄
[VISIBLE] ⇄ [PIN CODE] ⇄ [DEV.INFO] ⇄
[A.PAIRING]

※ 1. Bluetooth機器が登録されていないときは表示されません。

※ 2. Bluetooth機器を接続中の場合は表示されません。

Bluetooth機器を切り換える/接続を中止する

Bluetooth機器を複数台登録している場合、登録済みのBluetooth機器をリスト表示して、接続先を切り換えたり、接続の中止をおこなえます。

1「Bluetooth 接続メニューの切り換え」を参照して [DEVICELIST] を選ぶ (→P26)

2 接続または接続を中止したい Bluetooth 機器を選ぶ

ロータリーコマンドを回します。

 ・ロータリーコマンドを長く押し、デバイス名 (機器名称) とデバイスアドレスを切り換えることができます。

3 切り換える

ロータリーコマンドを押します。

 ・切り換わった Bluetooth 機器に、* が表示されます。
・接続中の Bluetooth 機器を選んだ場合は、接続を中止します。

■ 登録済みの Bluetooth 機器を削除する

 ・本機能の操作中は、エンジンスイッチを OFF にしないでください。

1「Bluetooth 接続メニューの切り換え」を参照して [DEL DEVICE] を選ぶ (→P26)

2 削除する Bluetooth 機器を選ぶ

ロータリーコマンドを回します。

 ・ロータリーコマンドを長く押し、デバイス名 (機器名称) とデバイスアドレスを切り換えることができます。

3 削除する

ロータリーコマンドを押します。

確認画面が表示されます。

 ・操作を中止する場合は、BAND/  ボタンを長く押し、前の画面に戻ります。

4 削除を確定する

ロータリーコマンドを押します。

メッセージの表示とともに、選んだ Bluetooth 機器が削除されます。

■ Bluetooth 機器を登録する

Bluetooth 機器を使うには、本機に Bluetooth 機器を登録する必要があります。10 台まで登録できます。

Bluetooth 機器を接続中の場合、[ADD DEVICE] は表示されません。

Bluetooth 機器の接続を中止 (→P26) してから、Bluetooth 機器を登録してください。接続中の Bluetooth 機器から接続を中止しても、Bluetooth 機器を登録することができます。

1「Bluetooth 接続メニューの切り換え」を参照して [ADD DEVICE] を選ぶ (→P26)

2 登録する Bluetooth 機器を選ぶ

ロータリーコマンドを回します。

周辺の Bluetooth 機器が検索され、登録可能な Bluetooth 機器のデバイス名 (機器名称) が表示されます。

ロータリーコマンドを長く押し、デバイス名 (機器名称) とデバイスアドレスを切り換えることができます。

 ・すでに 10 台の Bluetooth 機器が本機に登録されている場合、[DEVICE FULL] と表示されます。登録されている Bluetooth 機器を削除してください (→P27)。
・目的の Bluetooth 機器が表示されていないときは、[RE-SEARCH] を選びます。
・登録可能な Bluetooth 機器が見つからなかった場合は、[NOT FOUND] と表示されます。
・お使いの Bluetooth 機器によっては、本機からの検索で見つからない場合があります。その場合は、Bluetooth 機器から登録してください。検出状態の設定が、ON になっている必要があります (→P28)。Bluetooth 機器からの登録について詳しくは、Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。
・検索中にもう一度ロータリーコマンドを押すと、検索を中止します。

3 選んだ Bluetooth 機器を接続する

ロータリーコマンドを押します。

本機と Bluetooth 機器のディスプレイに表示される 6 桁の数字が同じであることを確認し、[YES] を選んでください。

Bluetooth 機器側にパスコードの入力が求められた場合は、Bluetooth 機器を操作して、パスコードを入力してください。

登録が完了すると、本機のディスプレイに、[PAIRED] と表示されます。



- 工場出荷時のパスコードは、「0000」です。パスコードは変更できません(→P28)。
- ハンズフリー機器は、2 台まで同時に接続できません。
- 1 台目の Bluetooth 機器を接続中に 2 台目の Bluetooth 機器を登録する場合は、2 台目に登録する Bluetooth 機器から登録してください。
- Bluetooth 機器から本機に接続する場合は、検出状態の設定が [ON] になっている必要があります(→P28)。

■ 自動接続を設定する

本機能を ON にすると、登録済みの Bluetooth 機器の中で、最後に接続した機器(2 台同時接続していた場合は、最後に接続した 2 台の機器)に自動で接続できます。

1 「Bluetooth 接続メニューの切り換え」を参照して [A.CONN] を選ぶ(→P26)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

■ Bluetooth 機器からの検出状態を設定する

本機能を ON にすると、Bluetooth 機器から本機を検出できます。
Bluetooth 機器からの接続方法については、Bluetooth 機器の説明書をお読みください。

1 「Bluetooth 接続メニューの切り換え」を参照して [VISIBLE] を選ぶ(→P26)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

■ 本機のパスコードを変更する

工場出荷時のパスコード「0000」を変更できます。

1 「Bluetooth 接続メニューの切り換え」を参照して [PIN CODE] を選ぶ(→P26)

2 パスコードを変更する

● 入力する数字を選ぶとき

ロータリーコマンドを回します。

操作	動作内容
右に回す	数字を大きくする
左に回す	数字を小さくする

● 入力する位置を選ぶとき

ロータリーコマンドを押します。
押すたびに入力する位置が右に移動します。

3 パスコードの編集を終了する

ロータリーコマンドを長く押します。

■ 本機の Bluetooth 機器情報を確認する

本機の機器名称(デバイス名)や機器アドレス(デバイスアドレス)を確認できます。

1 「Bluetooth 接続メニューの切り換え」を参照して [DEV.INFO] を選ぶ(→P26)

2 情報を確認する

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。
機器名称 ⇄ 機器アドレス

■ 自動ペアリングを設定する

本機能を ON にすると、iPhone またはスマートフォンを USB 接続したとき、自動的にペアリングを要求します。

1 「Bluetooth 接続メニューの切り換え」を参照して [A.PAIRING] を選ぶ(→P26)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。



- iOS のバージョンによっては、この機能は使用できません。
- スマートフォンを接続する場合は、Pioneer ARC をスマートフォンにインストールして、[PHONE CONNECT] 設定が [APP CONTROL] になっている必要があります(→P40)。

BT AUDIOを聞く (BT AUDIO)

本機では、Bluetooth 機器を使って、Bluetooth オーディオ機能を使用できます。

- Bluetooth 対応機器を本機のBT AUDIO ソースとして初めて使用する場合、あらかじめBluetooth 対応機器を本機に登録しておく必要があります (→P27)。
- BT AUDIO ソースを使用する場合は、[BT AUDIO] 設定がONになっている必要があります (→P39)。
- BT AUDIOでは、以下のBluetooth プロファイルに対応しています。
 - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
 - AVRCP (Audio/Video Remote ControlProfile) ver. 1.5
- iPod ソースのときには、Bluetooth オーディオ (A2DP) の接続はできません。
- 接続するBluetooth 機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。Bluetooth 機器の説明書も併せてご覧ください。

聞きたい曲をさがす

- リスト表示するにはBluetooth 対応機器が AVRCP ver. 1.4 以上に対応している必要があります。対応状況は機器メーカーでご確認ください。
- Bluetooth 対応機器から英数字が送られてくる場合にリスト表示されます。日本語表示はできません。

1 ブラウズモードにする

Q ボタンを押します。

2 項目を選ぶ

ロータリーコマンドを回します。押すと決定します。

必要に応じて項目を絞り込んでください。再生したい曲が見つかったら、ロータリーコマンドを押します。

再生する

- 1 ファンクションメニューから [PLAY] を選ぶ (→P17)

2 再生を開始する

ロータリーコマンドを押します。

再生を停止する

- 1 ファンクションメニューから [STOP] を選ぶ (→P17)

2 再生を停止する

ロータリーコマンドを押します。

音を補正して高音質化する (アドバンスド・サウンドレトリバー)

操作方法はCDの場合と同じです (→P19)。

繰り返し再生する (リピートプレイ)

1 設定を切り換える

6/↺ ボタンを押します。もう一度押すと解除されます。

違う曲順で再生する (シャッフルプレイ)

1 設定を切り換える

5/🎲 ボタンを押します。もう一度押すと解除されます。

- 接続したBluetooth 機器により、再生範囲が異なる場合があります。
- ランダムプレイ中に曲を変更する場合は、⏮ ボタンを押して切り換えてください。⏭ ボタンを押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

再生を一時停止する

操作方法はCDの場合と同じです (→P19)。

表示を切り換える

トラックタイトルやアーティスト名などを表示できます。



• 操作が終了したら、BAND/  ボタンを長く押ししてください。ふだんの再生画面に戻ります。

1 表示を切り換える

DISP/TI ボタンを押すごとに切り換わります。



• 接続する Bluetooth 機器やファイルにより、表示が異なる場合があります。

携帯電話を使う [PHONE MENU]

本機では、Bluetooth 対応の携帯電話を使用して、ハンズフリー通話ができます。

Bluetooth 対応の携帯電話は、2 台まで同時に接続できます。接続方法は、P26 をご覧ください。



- 携帯電話を使用するときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。
- 初めて本機で携帯電話を使用する場合は、携帯電話を本機に登録する必要があります (→ P27)。
- 組み合わせる Bluetooth 対応の携帯電話によっては、操作や動作が異なります。携帯電話の取扱説明書も併せてご覧ください。

電話に出る・電話を切る

どのソースを聞いているときでも、本機の電源が OFF のときでも、かかってきた電話に出ることができます。

1 電話がかかってきたら、電話に出る

ロータリーコマンドを押します。
電話がつながり、通話できます。



- 割込通話機能の利用には、携帯電話会社との契約が必要です。
- 割込通話中は、通話の相手を切り換えることはできませんが、通話を個別に切ることはできません。
- 通話中に BAND/  ボタンを押すと、ハンズフリー通話とプライベート通話 (携帯電話で通話) を切り換えることができます。
- 通話中にロータリーコマンドを押すと、電話の保留と応答を切り換えることができます。
- 通話中に別の電話がかかってきた場合 (割込通話)、ロータリーコマンドを押すと、通話の相手が切り換わります。
- ハンズフリー通話中に  /  ボタンを押すと、通話相手への音声調節を調節することができます。
- 着信中にロータリーコマンドを回すと、着信音量を調節できます。
- 通話中に DISP/TI ボタンを押すと、通話時間と電話番号の表示を切り換えることができます。
- 携帯電話の 2 台同時接続中に、1 台目で通話をしていて 2 台目に電話がかかってきた場合は、本機のディスプレイにメッセージが表示されます。

2 受話音量を調節する

ロータリーコマンドナーを回します。

操作	動作内容
右に回す	音量を大きくする
左に回す	音量を小さくする

3 電話を切る

 ボタンを押します。

着信を拒否する

電話に出られないときは、着信を拒否できます。

1 電話がかかってきたら着信を拒否する

 ボタンを長く押します。

 ・通話中に別の電話がかかってきた場合も、同じ操作で着信を拒否できます。

PHONE メニューを切り換える

電話機能を PHONE メニューで選んで操作します。

1 PHONE メニューを表示する

 ボタンを押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドナーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

[RECENTS] ⇄ [PRESET 1-6] ⇄

[A.ANSR] ⇄ [R.TONE] ⇄ [BT SETTING]

履歴から電話をかける

接続中の携帯電話ごとに、不在着信履歴 (MISSED)、発信履歴 (DIALLED)、着信履歴 (RECEIVED) が記録されます。記録された履歴データから、電話をかけることができます。

1 PHONE メニューから [RECENTS] を選ぶ (→P31)

2 [MISSED]/[DIALLED]/[RECEIVED]のいずれかを選ぶ

 ・携帯電話が接続されていないときは、MISSED、DIALLED、RECEIVEDには切り換わりません。

3 履歴データを選ぶ

ロータリーコマンドナーを回します。

操作	動作内容
右に回す	次の履歴データを選ぶ
左に回す	前の履歴データを選ぶ

プリセット登録をするときは (→P31)、ここで電話番号を選択し、1/∧ ~ 6/⇨ボタンのいずれかを長く押します。

 ・登録済みボタンを長く押すと、上書きされます。

4 電話をかける

ロータリーコマンドナーを押します。

 ・携帯電話の Bluetooth プロファイルの内、PBAP プロファイルを有していることが前提です。PBAP プロファイルがあっても、発信履歴が表示されないことがあります。

プリセット番号を選んで電話をかける

1/∧ ~ 6/⇨ボタンに電話番号をプリセット登録し、1 ~ 6のプリセット番号を選んで電話をかけます。履歴から電話番号を選択して登録します (→P31)。

1 PHONE メニューから [PRESET 1-6] を選ぶ (→P31)

登録済みのプリセット番号が表示されます。

2 プリセット番号を選ぶ

ロータリーコマンドナーを回します。

 ・1/∧ ~ 6/⇨ボタンのいずれかを押し、選択することもできます。

3 電話をかける

ロータリーコマンドーを押します。

プリセットボタンで電話をかける

1/△ ~ 6/◀ ボタンに電話番号をプリセット登録し、ボタンを押して電話をかけます。履歴から電話番号を選択して登録します (→P31)。

1 電話をかける

☞ ボタンを押し、1/△ ~ 6/◀ ボタンのいずれかを押し、ロータリーコマンドーを押します。

電話機能を設定する

✎ ・操作や設定が終了したら、BAND/▶ ボタンを長く押ししてください。ふだんの再生画面に戻ります。

■ 自動着信を設定する

自動着信を ON に設定すると、着信後約 5 秒で自動的に応答して通話できます。

1 PHONE メニューから [A.ANSR] を選ぶ (→P31)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

✎ ・2 台同時接続して通話・発信・受信をしていると、2 台目に電話がかかってきても自動着信しません。

■ 着信音を設定する

着信音設定を ON にすると、本機側で用意された着信音になります。ただし、接続した携帯電話によっては、機能しない場合があります。

1 PHONE メニューから [R.TONE] を選ぶ (→P31)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

音声認識機能を使う

音声認識機能を搭載した iPhone を Bluetooth 接続している場合、本機の音声認識機能を使って音

楽を再生したり、電話をかけることができます。



- ・音声認識について詳しくは、iPhone の説明書をお読みください。
- ・操作方法は、ご使用の iPhone によって異なる場合があります。
- ・発話どおり認識されたことを確認してください。
- ・風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因になります。車の窓は閉めてください。
- ・マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付けてください。
- ・音声入力開始操作後、すぐに発話すると正しく認識できない原因になります。
- ・ゆっくり、はっきりと発話しないと、正しく認識できない原因になります。

1 音声認識モードに入る

☞ ボタンを長く押します。

[VOICE CTRL] または [I'M LISTENING] と表示され、音声認識モードに入ります。



- ・iPhone を操作して音声認識モードに入ることもできます。
- ・誤って音声認識モードに入った場合は、以下の方法で解除してください。
 - BAND/▶ ボタンを押す
 - 再度 ☞ ボタンを長く押す

2 音声入力を開始する

ロータリーコマンドーを押して、本機のマイクに向かって発話します。音声指示した動作が実行されます。



- ・繰り返し音声入力を行うときは、もう一度ロータリーコマンドーを押します。

音の調節 [AUDIO]

音の調節は、セットアップメニュー (→P9) で選択したスピーカーモードと、スピーカーの接続状態に合わせて行ってください。選択したスピーカーモードによって表示されるメニューや設定内容が異なります。

スピーカーモードを変更するときは、システムリセット (→P38) を行って本機を工場出荷時の状態に戻し、セットアップメニュー (→P9) で設定し直してください。

オーディオメニューを切り換える

• 操作や設定が終了したら、BAND/  ボタンを長く押ししてください。ふだんの再生画面に戻ります。

1 オーディオメニューを表示する

電源ONの状態、ロータリーコマンドを押します。
ロータリーコマンドを回してAUDIOを選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。
[EQ SETTING] ⇄ [FADER] *⇄
[BALANCE] ⇄ [SUBWOOFER] (ON/OFF切換) ⇄ [SUBWOOFER] (位相切換) ⇄
[SPEAKER LEVEL] ⇄ [CROSSOVER] ⇄
[POSITION] ⇄ [TIME ALGNMNT] ⇄ [SAVE SETTINGS] ⇄ [LOAD SETTINGS] ⇄
[BASS BEAT] ⇄ [LOUDNESS] ⇄ [SLA]
※: スタンダードモードのみ

• 交通情報を受信しているときは、FADERとBALANCE以外は調節できません。

■ イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、お好みの音質にできます。

1 オーディオメニューから [EQ SETTING] を選ぶ (→P33)

2 イコライザーカーブを切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。
[FLAT] ⇄ [SUPER BASS] ⇄
[POWERFUL] ⇄ [NATURAL] ⇄ [VOCAL]

⇄ [CUSTOM1] ⇄ [CUSTOM2]

• 「CUSTOM1」と「CUSTOM2」は、お好みに合わせて調節できます。
• 「FLAT」は、イコライザーによる音の補正がされていません。他のイコライザーカーブに切り換えることで、そのイコライザーカーブの効果を確認することもできます。

■ イコライザーカーブを調節する

「CUSTOM1」、「CUSTOM2」のイコライザーカーブを補正できます。これにより、よりお好みであった音質を作り出すことができます。

• すべてのソースに共通したイコライザーカーブとして記憶されます。

1 「イコライザーカーブを選ぶ」の手順2で、「CUSTOM1」または「CUSTOM2」に切り換える

2 周波数を選ぶ

ロータリーコマンドを回します。

操作	動作内容
右に回す	高い周波数を選ぶ
左に回す	低い周波数を選ぶ

50Hz、80Hz、125Hz、200Hz、315Hz、500Hz、800Hz、1.25kHz、2kHz、3.15kHz、5kHz、8kHz、12.5kHzの中から選べます。

3 レベル調節に切り換える

ロータリーコマンドを押します。

4 レベルを調節する

ロータリーコマンドを回します。

操作	動作内容
右に回す	レベルを大きくする
左に回す	レベルを小さくする

レベルは-6 ~ +6の範囲で調節できます。

• CUSTOM1、CUSTOM2以外を選んでイコライザーカーブを調節することもできます。その場合は「イコライザーカーブを選ぶ」の手順2でCUSTOM1、CUSTOM2以外を選び、ロータリーコマンドを長く押ししてください。設定した内容はCUSTOM1に記憶されます。

■前後の音量バランスを調節する

前後のスピーカーからの音量バランスを調節します。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

1 オーディオメニューから [FADER] を選ぶ (→P33)

2 音量バランスを調節する

ロータリーコマンドを回します。

操作	動作内容
右に回す	前を強める
左に回す	後を強める

前後のバランスは、F 25 ~ R 25 の範囲で調節できます。

■左右の音量バランスを調節する

左右のスピーカーからの音量バランスを調節します。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

1 オーディオメニューから [BALANCE] を選ぶ (→P33)

2 音量バランスを調節する

ロータリーコマンドを回します。

操作	動作内容
右に回す	右を強める
左に回す	左を強める

左右のバランスは、L 25 ~ R 25 の範囲で調節できます。

■サブウーファーを使う

1 オーディオメニューから [SUBWOOFER] (ON/OFF 切換) を選ぶ (→P33)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

[ON] ⇄ [OFF]

• OFF に設定した場合、サブウーファーの位相切り換えの設定はできません。また、出力レベル、タイムアライメント、カットオフ周波数、スロープでサブウーファーの設定はできません。

■サブウーファーの位相切り換え

本機にサブウーファーを接続して使用する場合は、サブウーファーから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。

• サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転(干渉)し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。

- 正相: サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーと同時に出力される
- 逆相: サブウーファーの音が、フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される

1 オーディオメニューから [SUBWOOFER] (位相切換) を選ぶ (→P33)

2 位相を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

[NOR] ⇄ [REV]

機能名	動作内容
NOR	正相を選ぶ
REV	逆相を選ぶ

■出力レベルを調節する

1 オーディオメニューから [SPEAKER LEVEL] を選ぶ (→P33)

2 調節するスピーカーを切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

スタンダードモードの場合:

[FRONT L] ⇄ [FRONT R] ⇄ [REAR L] ⇄ [REAR R] ⇄ [SUBWOOFER]

ネットワークモードの場合:

[HIGH L] ⇄ [HIGH R] ⇄ [MID L] ⇄ [MID R] ⇄ [SUBWOOFER]

3 出力レベルを調節する

操作	動作内容
右に回す	レベルを大きくする
左に回す	レベルを小さくする

レベルは -24 ~ +10 の範囲で調節できます。

■ カットオフ周波数とスロープを調節する

スピーカーから出力される低音域(カットオフ周波数)と出力レベル、スロープなどを設定します。各スピーカーから出力される音とのつながりが自然になるように設定してください。

1 オーディオメニューから [CROSSOVER] を選ぶ (→P33)

2 調節するスピーカーを切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

スタンダードモードの場合:

[FRONT] ⇄ [REAR] ⇄ [SUBWOOFER]

ネットワークモードの場合:

[HIGH] ⇄ [MID HPF] ⇄ [MID LPF] ⇄ [SUBWOOFER]

3 フィルターを設定する

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。押しと決定します。

スタンダードモードの場合:

[FRONT]/[REAR]の場合: [OFF] ⇄ [HPF]

[SUBWOOFER]の場合: [OFF] ⇄ [LPF]

ネットワークモードの場合:

[HIGH]の場合: HPF

[MID HPF]の場合: OFF ⇄ HPF

[MID LPF]/[SUBWOOFER]の場合:

OFF ⇄ LPF

4 カットオフ周波数を調節する

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。押しと決定します。

操作	動作内容
右に回す	高い周波数を選ぶ
左に回す	低い周波数を選ぶ

選べるカットオフ周波数は次の通りです。

スタンダードモードの場合:

25Hz ⇄ 31.5Hz ⇄ 40Hz ⇄ 50Hz ⇄
63Hz ⇄ 80Hz ⇄ 100Hz ⇄ 125Hz ⇄
160Hz ⇄ 200Hz ⇄ 250Hz

ネットワークモードの場合:

• HIGH/MID LPF

1.25kHz、1.6kHz、2kHz、2.5kHz、
3.15kHz、4kHz、5kHz、6.3kHz、8kHz、
10kHz、12.5kHz

• MID HPF/SUBWOOFER

25Hz、31.5Hz、40Hz、50Hz、63Hz、
80Hz、100Hz、125Hz、160Hz、200Hz、
250Hz



•本機能では、選んだ周波数よりも上の周波数(または下の周波数)の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファースのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調することもできます。

5 スロープを調節する

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。押しと決定します。

操作	動作内容
右に回す	減衰量を小さくする
左に回す	減衰量を大きくする

選べる減衰量は次の通りです。

スタンダードモードの場合:

• FRONT/REAR

-6dB/oct、-12dB/oct、-18dB/oct、
-24dB/oct

• SUBWOOFER

-6dB/oct、-12dB/oct、-18dB/oct、
-24dB/oct、-30dB/oct、-36dB/oct

ネットワークモードの場合:

• HIGH/MID HPF/MID LPF

-6db/oct、-12db/oct、-18db/oct、
-24db/oct

• SUBWOOFER

-12db/oct、-18db/oct、-24db/oct、
-30db/oct、-36db/oct



•スロープは、周波数が1オクターブ高く(または低く)なったときに、信号が何dB減衰するかを表す値(単位: dB/oct.)です。傾きを急にすると、信号が減衰する割合が大きくなります。

■ リスニングポジションを選ぶ

乗車位置や人数に合わせて、適切なリスニングポジションを選びます。



•本設定を変更すると、出力レベル(→P34)が自動で調整されます。

1 オーディオメニューから [POSITION] を選ぶ (→P33)

2 ポジション(位置)を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[OFF] ⇄ [FRONT LEFT] ⇄ [FRONT RIGHT] ⇄ [FRONT] ⇄ [ALL]*

※ スタンダードモードのみ

■ タイムアライメントを設定する

各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を設定して、全体的なバランスを調節します。

[POSITION]を[FRONT LEFT]または[FRONT RIGHT]に設定している場合のみ設定可能です。

1 オーディオメニューから [TIME ALGNMNT] を選ぶ (→P33)

2 タイムアライメントを切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[INITIAL] ⇄ [OFF] ⇄ [CUSTOM]

✎ 「INITIAL」を選ぶと、設定値が初期状態に戻ります。
「CUSTOM」は、お好みに合わせて調節できます。

■ タイムアライメントを調節する

タイムアライメントの「CUSTOM」を設定します。

1 「タイムアライメントを設定する」の手順2で [CUSTOM] に切り換える

2 調節するスピーカーを切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。押すと決定します。

スタンダードモードの場合：

[FRONT L] ⇄ [FRONT R] ⇄ [REAR L] ⇄ [REAR R] ⇄ [SUB.W]

ネットワークモードの場合：

[HIGH L] ⇄ [HIGH R] ⇄ [MID L] ⇄ [MID R] ⇄ [SUB.W]

3 距離を調節する

ロータリーコマンドを回します。

操作	動作内容
右に回す	距離を大きくする
左に回す	距離を小さくする

距離は0cm～350cmの範囲で調節できます。

■ 設定を保存する

オーディオメニューで設定した内容を保存します。保存される内容は次の通りです。

- ・イコライザーカーブ ([EQ SETTING])
- ・出力レベル ([SPEAKER LEVEL])
- ・カットオフ周波数とスロープ ([CROSSOVER])
- ・リスニングポジション ([POSITION])
- ・タイムアライメント ([TIME ALGNMNT])
- ・サブウーファースの位相 ([SUBWOOFER]) (位相切換)
- ・バスビートプラスター ([BASS BEAT])

1 オーディオメニューから [SAVE SETTINGS] を選ぶ (→P33)

2 「YES」を選ぶ

■ 保存した設定を読み込む

保存したオーディオメニューの設定を読み込みます。設定を読み込むと、現在の内容が上書きされます。

1 オーディオメニューから [LOAD SETTINGS] を選ぶ (→P33)

2 [SOUND SETTING] を選ぶ

■ 低い音を強調する (バスビートプラスター)

サブウーファースを接続したときのような音を出すことができます。レベルを上げると、迫力のある低音を再生できます。

1 オーディオメニューから [BASS BEAT] を選ぶ (→P33)

2 レベルを調節する

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[OFF] ⇄ [LOW] ⇄ [HI]

■ 小さな音量でも聞きやすくする

小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。ラウドネスは、この不足感を補って、音を聞きやすくします。

1 オーディオメニューから [LOUDNESS] を選ぶ (→P33)

2 効果音を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに切り換わります。

[OFF] → [LOW] (弱) → [MID] (標準) →

[HI] (強) → [OFF] に戻る

■各ソースの音量をそろえる

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違うことがあります。SLAを使うと、FMの音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。

- SLAとは、「Source Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)」の略です。
- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

1 オーディオメニューから [SLA] を選ぶ (→P33)

2 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを回します。

操作	動作内容
右に回す	レベルを大きくする
左に回す	レベルを小さくする

レベルは -4 ~ +4 の範囲で調節できます。

- AM / CD / USB / iPod / AUX (外部機器) / BT AUDIO の音量差を調節できます。

初期 / システム設定

[INITIAL/SYSTEM]

「リア出力を設定する」や「時計を合わせる」などの設定は、初期設定メニューまたはシステムメニューで操作します。

初期設定メニューは、電源をOFFにした状態で操作します。システムメニューは、電源をOFFにした状態でも、ONにした状態でも操作できます。

初期設定メニューを切り換える

1 本機の電源をOFFにする (→P9)

2 初期設定メニューを表示する

ロータリーコマンドーを押します。

ロータリーコマンドーを回して [INITIAL] を選び、押します。

3 機能を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。押すと決定します。

[REAR-SP] ⇄ [SYSTEM UPDATE] ⇄ [SYSTEM RESET]

リア出力を設定する

リアスピーカー出力には、フルレンジスピーカーまたはサブウーファースピーカーを接続できます。接続状態に合わせて設定します。

1 初期設定メニューから [REAR-SP] を選ぶ (→P37)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

[FUL] ⇄ [SW]

機能名	動作内容
FUL	リアスピーカー出力にフルレンジスピーカーを接続する (サブウーファースピーカーを接続しない)
SW	リアスピーカー出力に直接サブウーファースピーカーを接続する

本機のソフトウェアのバージョンを確認する

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。ソフトウェアについての情報についての詳細は、パイオニアのホームページをご覧ください。

1 初期設定メニューから [SYSTEM UPDATE] を選ぶ (→P37)

2 [SYSTEM INFO] を選ぶ

ソフトウェアのバージョンが表示されます。

本機のソフトウェアを更新する

本機のソフトウェアを更新できます。ソフトウェアについての情報や更新についての詳細は、パイオニアのホームページをご覧ください。

- ソフトウェアを更新すると、本機は工場出荷時の状態に戻ります。
- 更新作業中は、本機の電源を OFF にしないでください。

1 初期設定メニューから [SYSTEM UPDATE] を選ぶ (→P37)

2 [S/W UPDATE] を選ぶ

更新が開始します。

更新が完了すると、「COMPLETED」と表示されます。

システム設定を工場出荷時に戻す

1 初期設定メニューから [SYSTEM RESET] を選ぶ (→P37)

2 [YES] を選ぶ

ロータリーコマンドを押します。

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[YES] ⇄ [NO]

本機が再起動します。

システムメニューを切り換える

- 操作や設定が終了したら、BAND/  ボタンを長く押ししてください。ふだんの再生画面に戻ります。

1 システムメニューを表示する

ロータリーコマンドを押します。

ロータリーコマンドを回して SYSTEM を選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

[CLOCK SET] ⇄ [12H/24H] ⇄

[BEEP TONE] ⇄ [INFO DISPLAY] ⇄

[DOT DISPLAY] ⇄ [AUX] ⇄

[DEMO OFF] ⇄ [BT AUDIO] ⇄

[BT MEM CLEAR] ⇄ [PHONE CONNECT] ⇄

[P.APP AUTO ON] ⇄ [S.REMOTE] ⇄

[USB AUTO]

- 車によっては、手順2で「DEMO OFF」と表示される場合があります。この表示がされるときは、電源が OFF のときや何も操作しないときに、ファンクションやエンタテインメントの画面が表示されます。デモを OFF に設定してください (→P39)。

■ 時計を合わせる

本機のディスプレイに表示する時計の調整ができます。

1 システムメニューから [CLOCK SET] を選ぶ (→P38)

2 時または分を選ぶとき

ロータリーコマンドを押します。

3 時刻を合わせる

ロータリーコマンドを回します。

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

- 時計を常時表示したい場合は、ふだんの再生画面で DISP/TI ボタンを押して「CLOCK」を選んでください (→P13)。

■ 時計表示を切り換える

12時間表示、24時間表示を切り換えます。

1 システムメニューから [12H/24H] を選ぶ (→P38)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに切り換わります。

[12H] ⇄ [24H]

■ ビープ音を設定する

ボタンを押したときにビープ音鳴らすことができます。

ネットワークモードの場合は、表示されません。

1 システムメニューから [BEEP TONE] を選ぶ (→P38)

2 設定を切り替える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[ON] ⇄ [OFF]

機能名	動作内容
ON	ボタンを押したときにビープ音を鳴らす
OFF	ボタンを押したときにビープ音を鳴らさない

■ サブ表示部の表示を切り換える

サブ表示部の表示を、お好みに合わせて選ぶことができます。

1 システムメニューから [INFO DISPLAY] を選ぶ (→P38)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[SOURCE/BTINFO] ⇄ [SOURCE/SPEANA] ⇄ [CLOCK/BTINFO] ⇄ [CLOCK/SPEANA] ⇄ [LEVEL METER] ⇄ [SPEANA] ⇄ [OFF]

機能名	動作内容
SOURCE/ BTINFO	ソース名、Bluetooth機器の情報を表示する
SOURCE/ SPEANA	ソース名、スピーカを表示する
CLOCK/BTINFO	時計、Bluetooth機器の情報を表示する
CLOCK/ SPEANA	時計、スピーカを表示する
LEVEL METER	レベルメーターを表示する
SPEANA	スピーカを表示する

機能名	動作内容
OFF	表示しない

■ DOT DISPLAYの表示を切り換える

ディスプレイ画面左部の表示を、スピーカまたはアイコンに設定できます。

1 システムメニューから [DOT DISPLAY] を選ぶ (→P38)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに [SPEANA] ⇄ [ICON] が切り換わります。

■ 外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする

本機にポータブル音楽再生機器やVTRなどの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。

• 本機に外部機器を接続するには、本機前面にある AUX 入力端子に、3.5 mm φステレオミニジャックを差し込みます。

1 システムメニューから [AUX] を選ぶ (→P39)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

• 工場出荷時は、AUXがONに設定されています。AUXを使用しない場合は、OFFに設定してください。

■ デモ画面をOFFに設定する

デモ画面は、本体の取り付け後、初めて電源を立ち上げたときのみ表示されます。車のイグニッションスイッチをOFFにした場合と、デモ画面をOFFに設定した場合は、再表示することはできません。

1 システムメニューから [DEMO OFF] を選ぶ (→P38)

2 [YES] を選ぶ

■ BT AUDIO ソースをONにする

Bluetooth対応機器を接続してBT AUDIO ソースとして使用する場合、設定をONにします。

1 システムメニューから [BT AUDIO] を選ぶ (→P38)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

■ 登録した Bluetooth 機器のデータを消去する

本機に登録した Bluetooth 対応機器から転送されたデータなどを削除できます。この機能では、以下の情報が消去されます。

- ・履歴データ (不在着信履歴、発信履歴、着信履歴)
- ・Bluetooth 登録機器リスト
- ・編集したパスコード
- ・プリセット登録 1-6

1 システムメニューから [BT MEM CLEAR] を選ぶ (→P38)

確認画面が表示されます。

消去をやめる場合は、ロータリーコマンドーを回して NO にします。

2 消去する

ロータリーコマンドーを押します。

消去が完了すると、「CLEARED」と表示されます。

- ・消去できない場合は、「ERROR」と表示されます。

■ 接続する機器と接続方法を選ぶ

- ・本機能を有効にするには、電源を OFF にする必要があります。電源が ON の状態で設定を行った場合、電源が OFF になります。

1 システムメニューから [PHONE CONNECT] を選ぶ (→P38)

2 接続する機器を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。押すと決定します。

機能名	動作内容
IPHONE	iPhone を接続する
ANDROID	スマートフォンを接続する
OTHERS	上記以外を接続する

- ・「自動で USB ソースに切り換えるようにする」(→P41) の設定を ON にしている場合、本機能で設定を変更すると、USB ソースに自動で切り換わります。

3 接続方法を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

機能名	動作内容
WIRED	USB ケーブルで接続する
BLUETOOTH	Bluetooth で接続する
USB MTP	MTP で接続します。 ANDROID を選択した場合のみ選択できます。
APP CONTROL	AOA 2.0 で接続します。 ANDROID を選択した場合のみ選択できます。

- ・ロータリーコマンドーを回して切り換えることにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたらロータリーコマンドーを押してください。
- ・[BLUETOOTH] に設定した場合、Bluetooth 機器が接続されているかどうかに関わらず、USB ケーブルでの接続はできません。

■ Pioneer ARC の自動起動を設定する

本機にスマートフォンを AOA 接続したとき、Pioneer ARC を自動で起動するか設定します。

1 システムメニューから [P.APP AUTO ON] を選ぶ (→P38)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

- ・スマートフォンの接続モードを [APP CONTROL] に設定しているときのみ使用できます (→P40)。

■ ステアリングリモコンのキー設定をする

ステアリングリモコンを使用するためには、ステアリングリモコンアダプタ (別売) またはステアリングリモコンケーブル (別売) が必要です。

1 システムメニューから [S.REMOTE] を選ぶ (→P38)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。設定を選択し、ロータリーコマンドーを押します。

[OFF] ⇄ [PIONEER] ⇄ [PRESET]

機能名	動作内容
OFF	ステアリングリモコンは動作しない(工場出荷時の設定です)。
PIONEER	ステアリングリモコンアダプタ(別売)を利用する場合に選択します。 ① [PRESS VOL+]と[FOR 1 SEC]が交互に表示されたら、ステアリングリモコンの[VOL UP]キーを1秒以上押す ② [PRESS VOL-]と[FOR 1 SEC]が交互に表示されたら、ステアリングリモコンの[VOL DOWN]キーを1秒以上押す ③ [COMPLETED]と表示されたことを確認する
PRESET	ステアリングリモコンケーブル(別売)を利用する場合に選択します。 ① ロータリーコマンダーを回して車両メーカーを選ぶ ② ロータリーコマンダーを押す ③ [PRESS VOL+]と[FOR 1 SEC]が交互に表示されたら、ステアリングリモコンの[VOL UP]キーを1秒以上押す ④ [PRESS VOL-]と[FOR 1 SEC]が交互に表示されたら、ステアリングリモコンの[VOL DOWN]キーを1秒以上押す ⑤ [COMPLETED]と表示されたことを確認する

- ① 「TRY AGAIN」と表示された場合は手順1からやり直してください。
- ② 車両によっては正しく動作しない場合があります。詳しくは、パイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 自動でUSBソースに切り換えるようにする

USB機器やiPhoneを接続したときに自動的にソースが切り換わるようにする場合、設定をONにします。

1 システムメニューから [USB AUTO] を選ぶ (→P38)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンダーを押すごとに [ON] ⇄ [OFF] が切り換わります。

MIXTRAX機能を使う

[MIXTRAX]

MIXTRAX機能をON / OFFする

MIXTRAXとは、さまざまな効果音を加えて、曲間をアレンジする技術です。ノンストップで音楽を楽しむことができます。また、再生する曲に合わせてディスプレイやボタンの色が自動的に変化し、さまざまな演出効果を楽しむことができます。本機能を使うときは、3/MIXボタン(→P13)を押して、ON/OFFを切り換えます。



- 本機能をONにすると、再生する曲に合わせてディスプレイやボタンの色が自動的に変化します。運転の妨げになるような場合は、本設定をOFFにするか、点滅エリアの切り換えをOFFにしてください(→P42)。
- 本機能は、USB(MTP接続を除く)、iPhoneの曲で使用できません。
- iPhoneの曲で使用する場合、USB接続の上、Pioneer ARCを使用してください。
- 曲を切り換えるときも自動で音声が変わり、無音状態がなくなります。

MIXTRAXメニューを切り換える



- 操作や設定が終了したら、BAND/ ボタンを長く押ししてください。ふだんの再生画面に戻ります。

1 MIXTRAXメニューを表示する

電源ONの状態、ロータリーコマンダーを押します。
ロータリーコマンダーを回してMIXTRAXを選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンダーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。
[SHORT PLAYBCK] ⇄ [FLASH AREA]
⇄ [FLASH PATTERN] ⇄
[DISPLAY FX] ⇄ [CUT IN FX]

■ 曲の再生時間を切り換える

設定した時間だけ、曲が再生されます。

1 MIXTRAXメニューから [SHORT PLAYBCK] を選ぶ (→P41)

2 再生時間を選ぶ

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[1.0 MIN] ~ [3.0 MIN] ⇔ [OFF]

再生時間は、1.0 MIN (分)、1.5 MIN (分)、2.0 MIN (分)、2.5 MIN (分)、3.0 MIN (分)の中から選べます。

■ 点滅エリアを切り換える

点滅エリアを、ボタンとディスプレイの中から選びます。

OFFを選択すると、イルミネーションメニューで設定した色になります (→P43)。

1 MIXTRAXメニューから [FLASH AREA] を選ぶ (→P41)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[KEY/DISPLAY] ⇔ [KEY] ⇔ [OFF]

機能名	動作内容
KEY/DISPLAY	ボタンとディスプレイが点滅する
KEY	ボタンが点滅する
OFF	点滅しない

■ 点滅パターンを切り換える

再生する曲に合わせて点滅パターンを選びます。

1 MIXTRAXメニューから [FLASH PATTERN] を選ぶ (→P41)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに切り換わります。

[SOUND LEVEL 1] ~ [SOUND LEVEL 6]

⇔ [LOW PASS 1] ~ [LOW PASS 6] ⇔

[RANDOM 1] ⇔ [RANDOM 2]

⇔ [RANDOM 3]

機能名	動作内容
SOUND LEVEL 1 ~ SOUND LEVEL 6	再生する曲のレベルに応じて変化する
LOW PASS 1 ~ LOW PASS 6	再生する曲の低音レベルに応じて変化する

機能名	動作内容
RANDOM 1	SOUND LEVELとLOW PASSの全12種類のパターンからランダムに選択する
RANDOM 2	SOUND LEVELの全6種類のパターンからランダムに選択する
RANDOM 3	LOW PASSの全6種類のパターンからランダムに選択する

■ 画面演出を設定する

メイン表示部とサブ表示部それぞれで、MIXTRAX専用の画面演出を行います。通常の画面表示は行いません。

 画面演出をONに設定すると、サブ表示部の表示切り換えで設定した表示はされません (→P39)。表示したいときはOFFに切り換えてください。

1 MIXTRAXメニューから [DISPLAY FX] を選ぶ (→P41)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを回すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

■ 効果音を設定する

手動で曲を切り換えるときに効果音を出します。

1 MIXTRAXメニューから [CUT IN FX] を選ぶ (→P41)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドを押すごとに [ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

イルミネーション機能を使う [ILLUMINATION]

イルミネーションメニューを切り換える

本機に設定したい色を、イルミネーションメニューで選びます。

 操作や設定が終了したら、BAND/  ボタンを長く押してください。ふだんの再生画面に戻ります。

1 イルミネーションメニューを表示する

電源 ON の状態で、ロータリーコマンドーを押します。

ロータリーコマンドーを回して

ILLUMINATIONを選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

[COLOR] ⇄ [DIM SETTING] ⇄
[BRIGHTNESS] ⇄ [PHONE COLOR] ⇄
[ILLUMI FX]

■ ボタンの色を選ぶ

ボタンに設定したい色を選びます。

 本設定を有効にするには、MIXTRAX 機能を OFF にするか (→P41)、MIXTRAX 機能の点滅エリアの切り換えを OFF (→P41) にしてください。

1 イルミネーションメニューから [COLOR]を選ぶ (→P43)

2 [KEY COLOR]を選ぶ

3 色を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

[WHITE] ⇄ [RED] ⇄ [AMBER] ⇄
[ORANGE] ⇄ [YELLOW] ⇄
[PUREGREEN] ⇄ [GREEN] ⇄
[TURQUOISE] ⇄ [LIGHT BLUE] ⇄ [BLUE]
⇄ [PURPLE] ⇄ [PINK] ⇄ [SCAN] ⇄
[CUSTOM]

WHITE ~ PINKはプリセットカラーです。

 ・プリセットカラーを選択時にロータリーコマンドーを長く押すと、その色を調節できます (→P44)。
・SCAN (スキャン) は、様々な色を自動で切り換えます。
・CUSTOM (カスタム) は、調節したボタンやディスプレイの色で表示します (→P44)。

■ ディスプレイの色を選ぶ

ディスプレイに設定したい色を選びます。

 ・「ボタンの色を選ぶ」の場合と同じです。

1 イルミネーションメニューから [COLOR]を選ぶ (→P43)

2 [DISP COLOR]を選ぶ

3 色を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

[WHITE] ⇄ [RED] ⇄ [AMBER] ⇄
[ORANGE] ⇄ [YELLOW] ⇄
[PUREGREEN] ⇄ [GREEN] ⇄
[TURQUOISE] ⇄ [LIGHT BLUE] ⇄ [BLUE]
⇄ [PURPLE] ⇄ [PINK] ⇄ [SCAN] ⇄
[CUSTOM]

WHITE ~ PINKはプリセットカラーです。

■ ボタンとディスプレイの色を選ぶ

本機のボタンとディスプレイに設定したい色を選びます。

 ・「ボタンの色を選ぶ」の場合と同じです。ただし、プリセットカラー選択時の色調節はできません。

1 イルミネーションメニューから [COLOR]を選ぶ (→P43)

2 [BOTH COLOR]を選ぶ

3 色を表示する

ロータリーコマンドーを押します。

4 色を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

[WHITE] ⇄ [RED] ⇄ [AMBER] ⇄
[ORANGE] ⇄ [YELLOW] ⇄
[PUREGREEN] ⇄ [GREEN] ⇄
[TURQUOISE] ⇄ [LIGHT BLUE] ⇄ [BLUE]
⇄ [PURPLE] ⇄ [PINK] ⇄ [SCAN]

WHITE ~ PINKはプリセットカラーです。

■ ボタンとディスプレイの色を調節する

本機のボタンやディスプレイに設定する色を、お好みに合わせて調節します。

✎ 「ボタンの色を選ぶ」の場合と同じです。

1 イルミネーションメニューから [COLOR] を選ぶ (→P43)

2 [KEY COLOR] または [DISP COLOR] を選ぶ

✎ 「BOTH COLOR」を選んでいるときは、調節できません。

3 プリセットカラーまたは [CUSTOM] を選ぶ

✎ SCANを選んでいるときは、ボタンとディスプレイの色の調節はできません。

4 色の調節をはじめ

ロータリーコマンドーを長く押します。

5 RGB を選ぶ

ロータリーコマンドーを押すごとに切り換わります。

[R] → [G] → [B] → [R] に戻る

6 RGB それぞれを調整する

ロータリーコマンドーを回します。

操作	動作内容
右に回す	レベルを大きくする
左に回す	レベルを小さくする

レベルは、0 ~ 60の範囲で調節できます。

✎ 他の色も同じ操作で調節できます。
• R (赤)、G (緑) および B (青) を同時に 10 未満のレベルにすることはできません。

■ 夜間の本機の明るさを切り換える (ディマー設定)

夜間にディスプレイやボタンがまぶしく感じられる場合、「明るい」、「暗い」を切り換えることができます。

1 イルミネーションメニューから [DIM SETTING] を選ぶ (→P43)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

[SYNC ILLUMI] ⇔ [SYNC CLOCK] ⇔ [MANUAL]

機能名	動作内容
SYNC ILLUMI	車のスモールランプを点灯すると、ディスプレイが暗くなる
SYNC CLOCK	ディマーの開始時間 (START) と終了時間 (STOP) を設定し、ディスプレイを暗くする時間を指定する
MANUAL	BAND/  ボタンを長く押すごとに、ディマー設定の ON/OFF を切り換える

■ ボタンの明るさを調節する

ボタンを、お好みの明るさに設定できます。

1 イルミネーションメニューから [BRIGHTNESS] を選ぶ (→P43)

2 [KEY] を選ぶ

3 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

[BRIGHTNESS 1] ⇔ [BRIGHTNESS 2] ⇔ [BRIGHTNESS 3] ⇔ [BRIGHTNESS 4] ⇔ [BRIGHTNESS 5] ⇔ [BRIGHTNESS 6] ⇔ [BRIGHTNESS 7] ⇔ [BRIGHTNESS 8] ⇔ [BRIGHTNESS 9] ⇔ [BRIGHTNESS 10]

✎ ディマー設定の ON/OFF 状態によって、設定範囲が変わります。
ON: [BRIGHTNESS 1] ~ [BRIGHTNESS 9]
OFF: [BRIGHTNESS 1] ~ [BRIGHTNESS 10]

KARAOKE機能を使う

[KARAOKE]

■ディスプレイの明るさを調節する

ディスプレイを、お好みの明るさに設定できます。

1 イルミネーションメニューから [BRIGHTNESS]を選ぶ(→P43)

2 [DISP]を選ぶ

3 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

[BRIGHTNESS 1] ⇔ [BRIGHTNESS 2] ⇔
[BRIGHTNESS 3] ⇔ [BRIGHTNESS 4] ⇔
[BRIGHTNESS 5] ⇔ [BRIGHTNESS 6] ⇔
[BRIGHTNESS 7] ⇔ [BRIGHTNESS 8] ⇔
[BRIGHTNESS 9] ⇔ [BRIGHTNESS 10]

 ・ディマー設定のON/OFF状態によって、設定範囲が変わります。
ON: [BRIGHTNESS 1] ~ [BRIGHTNESS 9]
OFF: [BRIGHTNESS 1] ~ [BRIGHTNESS 10]

■電話着信時色を選ぶ

電話を着信したときに表示する色を設定します。

1 イルミネーションメニューから [PHONE COLOR]を選ぶ(→P43)

2 色を切り換える

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。

[FLASHING] ⇔ [FLASH FX 1] ⇔ [FLASH
FX2] ⇔ [FLASH FX3] ⇔ [FLASH FX4] ⇔
[FLASH FX5] ⇔ [FLASH FX6] ⇔ [OFF]

■イルミネーションをスロー点灯/消灯させる

CDを挿入/排出したとき、または携帯電話の着信/通話中に、ボタンとディスプレイのイルミネーションがスロー点灯/消灯します。

 ・エンジンスイッチのACCをON/OFFしたときは、本設定に関係なくスロー点灯/消灯します。

1 イルミネーションメニューから [ILLUMI FX]を選ぶ(→P43)

2 設定を切り換える

ロータリーコマンドーを押すごとに[ON] ⇔ [OFF] が切り換わります。

 ・運転中は走行中にマイクを持って歌わないでください。交通事故の原因となります。
・マイクを接続するときは、マイクのコードが運転操作の妨げとならないように注意してください。ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
・マイクを使用中に「キーン」というハウリング音が発生するときは、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
・付属のマイクは使用できません。市販のダイナミックマイクを使用してください。
・マイクを車内に放置しないでください。
・ラジオソースとAUXソースを選択しているときは、カラオケ機能は使えません。

マイクを使う

市販のダイナミックマイクを接続して、音源(曲)とマイク音をミックスすることができます。

1 AUX入力端子に、マイクの3.5 mm φステレオミニジャックを接続する

2 Qボタンを長く押す

カラオケ機能がONになり[MIC VOL]が表示されます。

3 ロータリーコマンドーを回して音量を 調節する

マイクの設定をする

 ・操作や設定が終了したら、BAND/  ボタンを長く押してください。ふだんの再生画面に戻ります。
・Bluetooth接続している機器の音源(曲)が停止している場合は、MICROPHONEメニューが表示されない場合があります。

1 MICROPHONEメニューを表示する

電源ONの状態で、ロータリーコマンドーを押します。

ロータリーコマンドーを回してMICROPHONEを選び、押します。

2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドーを回すごとに切り換わります。押すと決定または設定値が変更されます。

[MICROPHONE] ⇔ [MIC VOL]
[MICROPHONE]: ONにするとマイクが使用
できます
[MIC VOL]: マイクの音量を調節します。

接続／取り付け

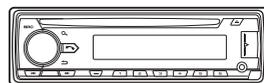
接続／取り付け上のご注意

- 接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- 車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続／取り付け部品を確認する

■ 本体関係

本体 × 1



トラスネジ
(5 mm × 9 mm) × 4



皿ネジ
(5 mm × 9 mm) × 4



■ コード関係

電源コード × 1



■ マイク関係

ハンズフリー用マイク × 1



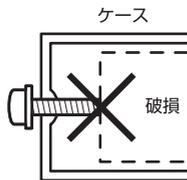
両面テープ
(15 mm × 12 mm) × 1



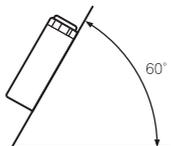
取り付けの前に知ってほしいこと

■ 取り付け上のご注意

・必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できずを外れたりして危険です。



・本機の性能を確実に発揮するために、水平に対して60度以内の角度で取り付けてください。



■ 取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

・まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

・車種や年式によっては、別売のバイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
・ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続の前に知ってほしいこと

■ 接続上のご注意

・本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



・本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
・赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
・本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。
・スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続したりしないでください。
・本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4Ωから8Ωの

ものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
・黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
・ガラスアンテナ車は、アンテナプースターの電源を、必ず本機の青/白リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナプースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、プースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■ 接続のポイント

ノイズ防止のために

・アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

・システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

■ コネクター着脱のポイント

・コネクターは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
・コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

バッテリー交換時のご注意

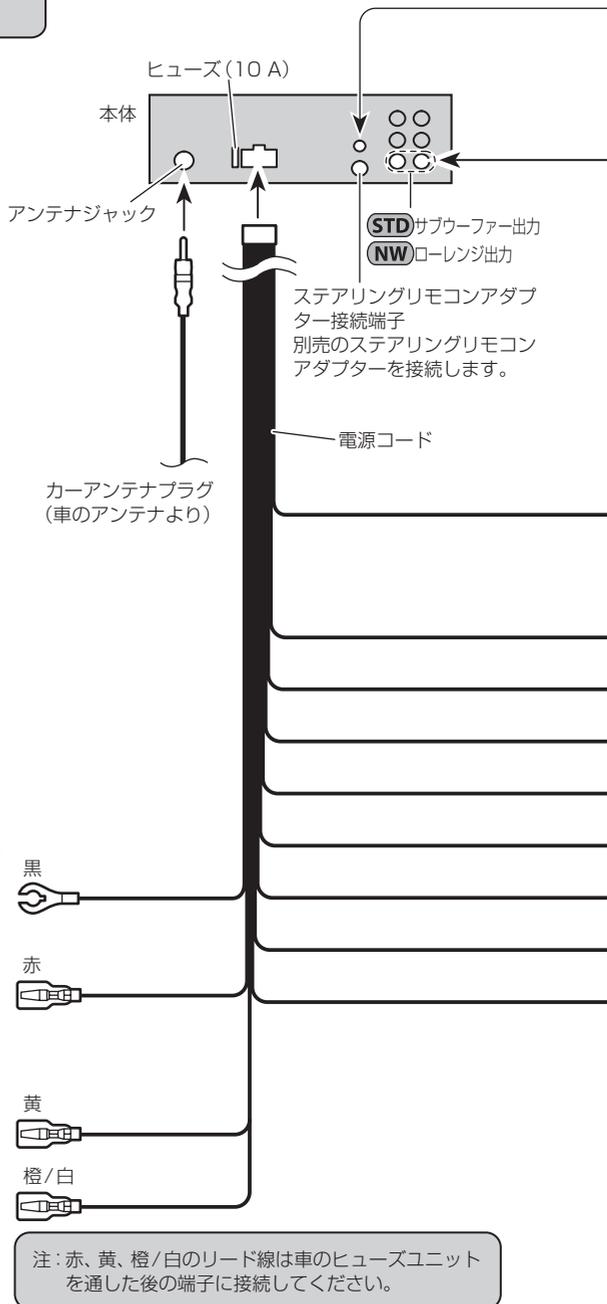
各機能の設定値は、車のイグニションスイッチをOFFにした場合に自動で記憶され、バッテリーを外しても保持されます。

接続する

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。



アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

アクセサリ電源

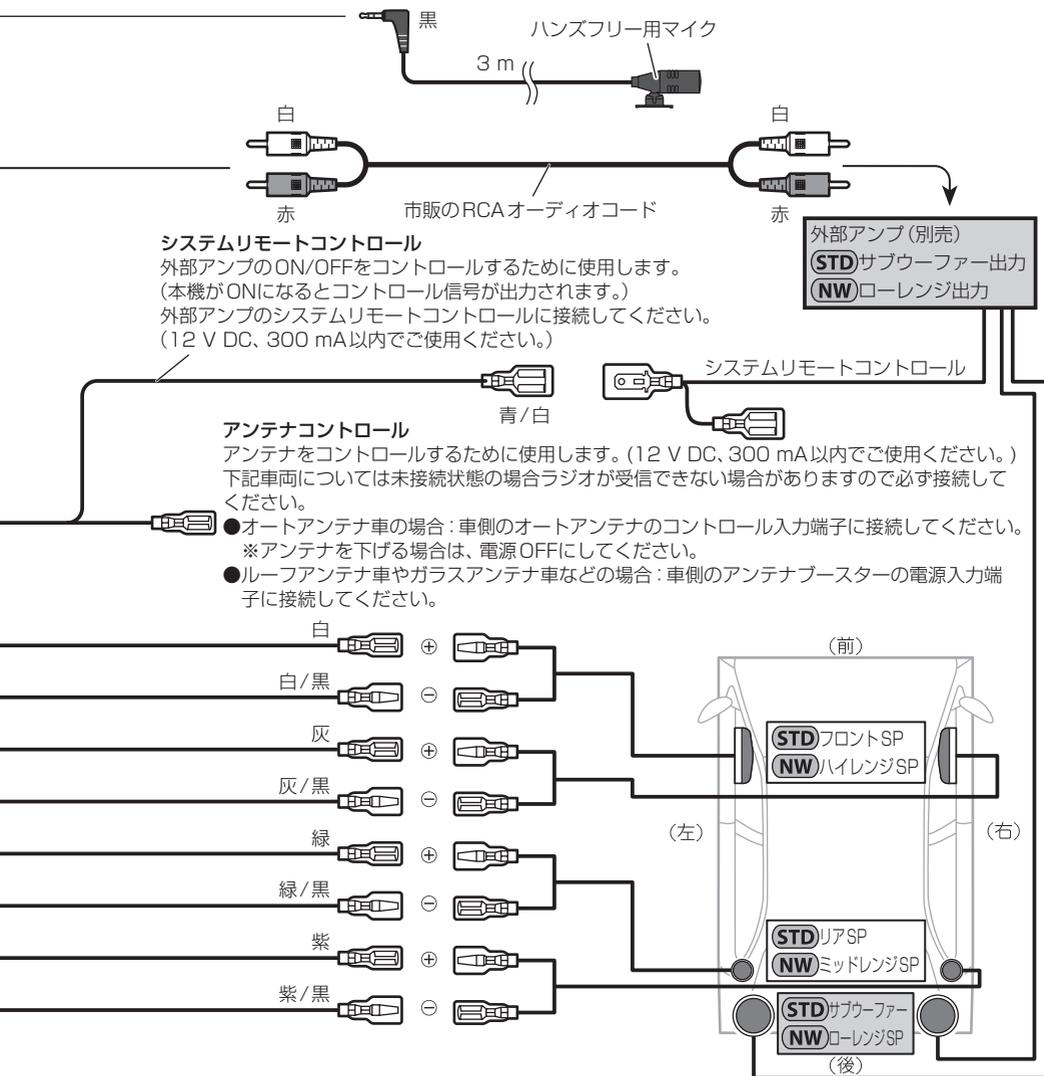
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

イルミネーション電源

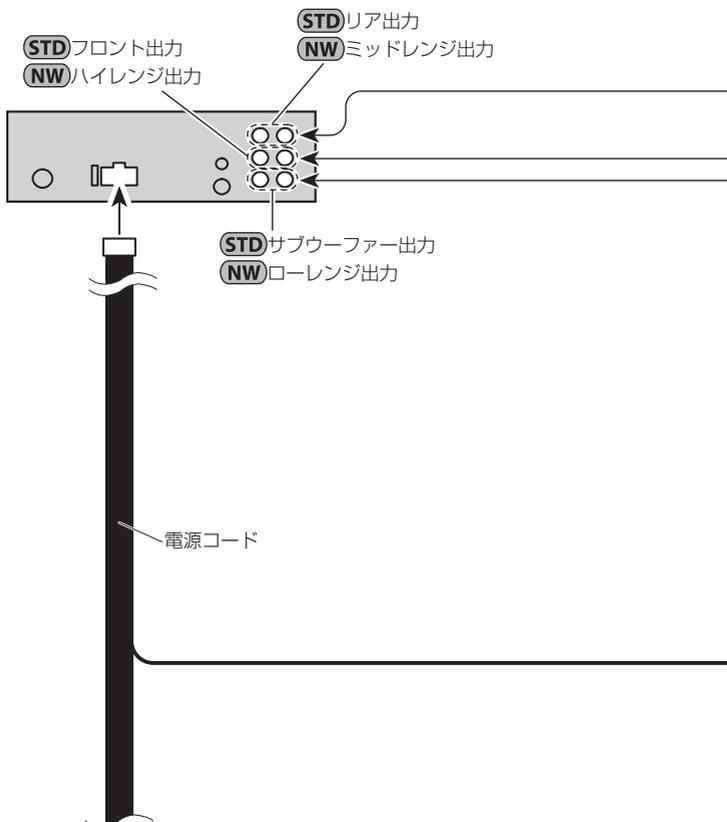
スモールランプ点灯時に電源が供給される電源回路に接続してください。



注：・スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。
・リアスピーカー出力に接続するスピーカーに合わせて、[REAR-SP]の設定を切り換えてください(→P37)。

STD：スピーカーモードがスタンダードモードの場合
NW：スピーカーモードがネットワークモードの場合

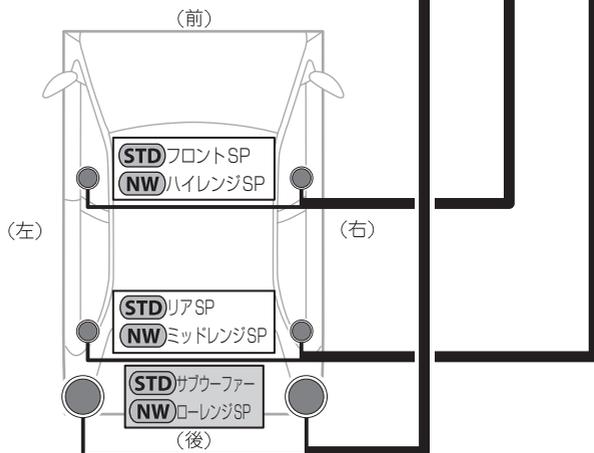
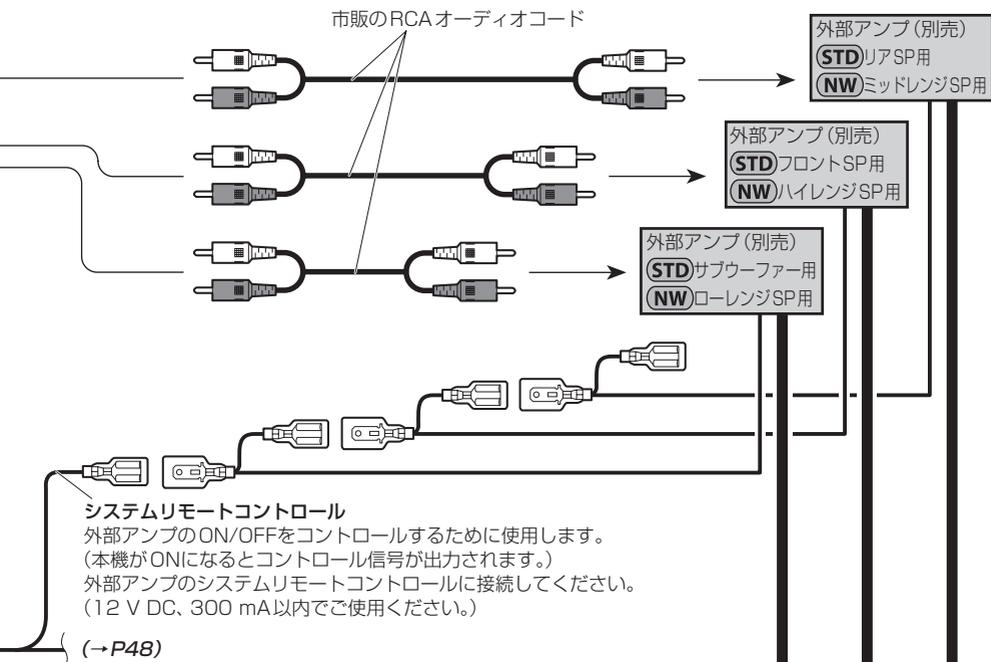
■ 本機のRCA出力に外部アンプを接続する場合



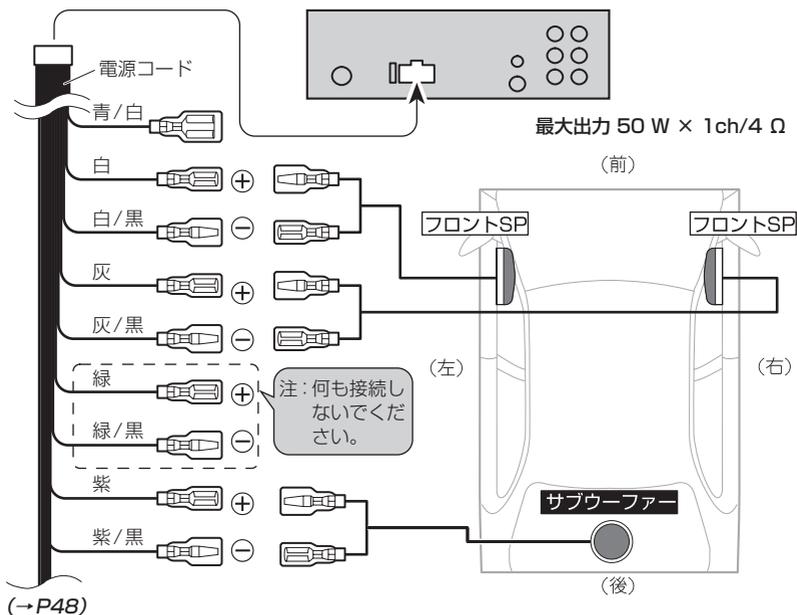
電源の接続について (→P48)
(スピーカーリード線は使用しません)

注: スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

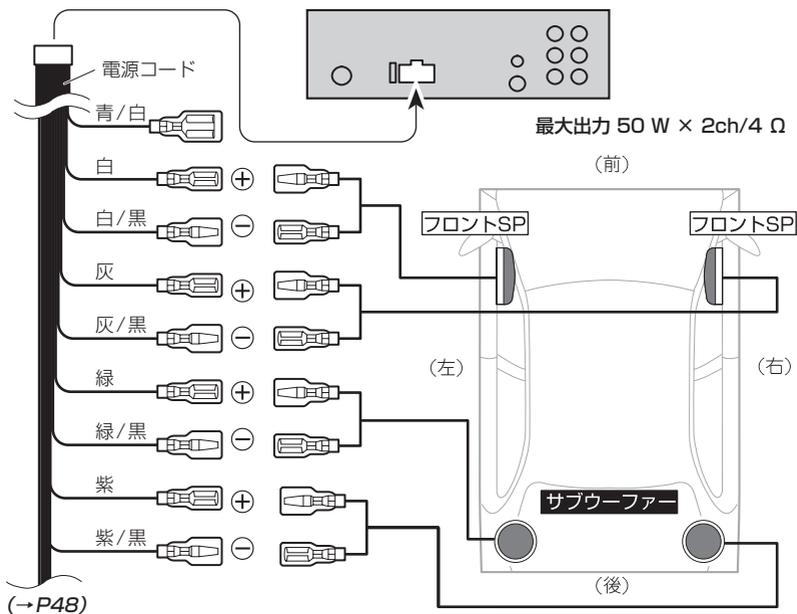
STD: スピーカーモードがスタンダードモードの場合
NW: スピーカーモードがネットワークモードの場合



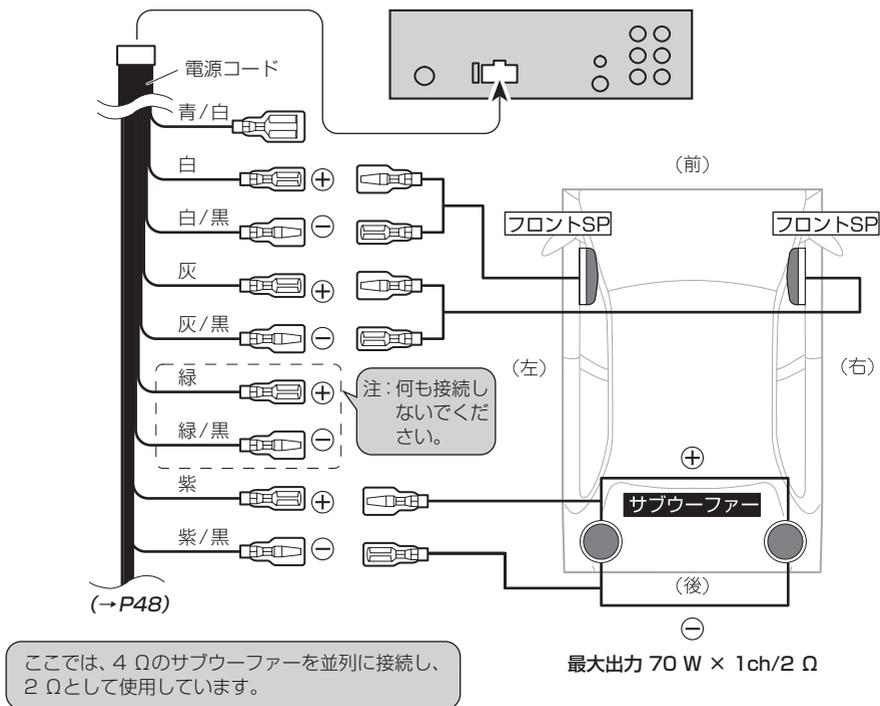
■ 本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(1)



■ 本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(2)



■ 本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (3)

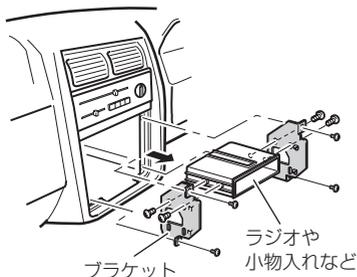


本体を取り付ける

トヨタ車、日産車への取り付け例です。

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。

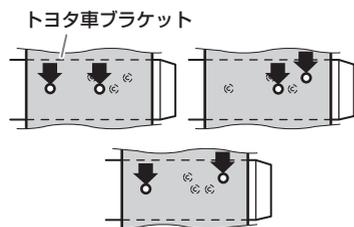


• 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

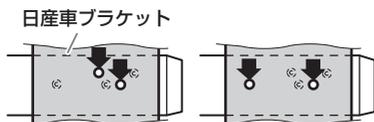
2 ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

トヨタ車の場合

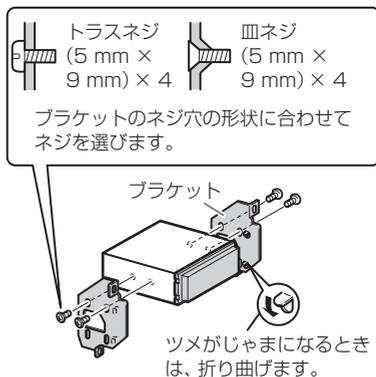


日産車の場合



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



■ フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

フロントパネルを取り外す(デタッチ)ことができます。操作方法は、P10をご覧ください。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続／取り付けをもう一度確認する

• 接続／取り付けに誤りがないか、各コネクターは確実に接続されているかもう一度、目で見ても確認してください。

2 車のエンジンをかける

3 本機の動作を確認する

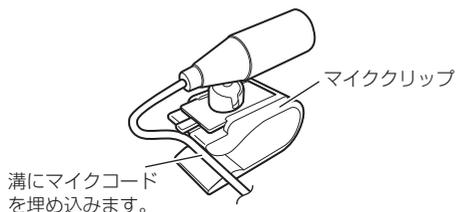
確認後にセットアップメニューが自動で起動しますので、設定を行ってください(→P9)。

ハンズフリー用マイクの取り付け

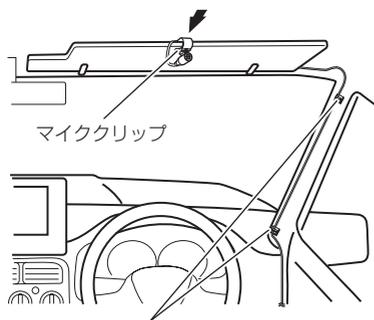
- 両面テープやクランパーを貼り付ける場所は、汚れをよくふきとってください。
- ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。

サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1 マイククリップにマイクコードを埋め込む



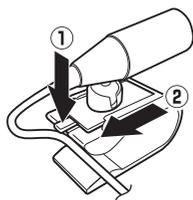
2 サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける



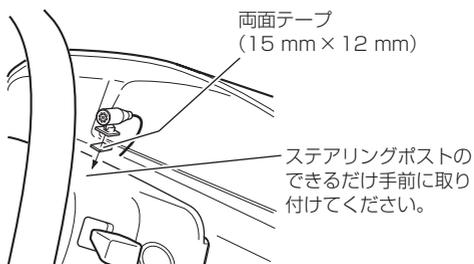
クランパー（市販品）で要所を固定しながら、マイクコードを引き回します。

ステアリングポストに取り付ける場合

1 マイククリップを取り外す



2 ステアリングポストにマイクを取り付ける



マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、下図のように矢印の方向に動かして調節します。



再生可能なメディアとファイルについて

フォーマット	拡張子	対応メディア	
		CD-R/RW	USB
WMA	.wma	○	○
MP3	.mp3	○	○
AAC	.m4a	○	○
WAV	.wav	○	○
FLAC	.flac	—	○

WMAとは？ 「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードできます。

MP3とは？ 「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループ(MPEG)の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮できます。

AACとは？ 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

WAVとは？ 「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

FLACとは？ 「Free Lossless Audio Codec」の略で、オープンソースとして開発された音声フォーマットです。MP3やAACと異なり、可逆圧縮であるため、音質を劣化させることなく圧縮できます。

コーデック		フォーマット				
		WMA	MP3	AAC	WAV	FLAC
サンプリング 周波数		32 kHz ~ 48 kHz	8 kHz ~ 48 kHz *	11.025 kHz ~ 48 kHz	16 kHz ~ 48 kHz (LPCM 形式) 22.05 kHz ~ 44.1 kHz (MS ADPCM 形式)	8 kHz ~ 96 kHz
ビット レート	CBR	48 kbps ~ 320 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	16 kbps ~ 320 kbps	—	—
	VBR	48 kbps ~ 384 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	16 kbps ~ 320 kbps	—	—

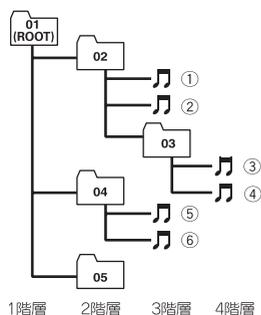
*サンプリング周波数が32 kHz、44.1 kHz、48 kHzのMP3ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応。



- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含むWMAファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- この製品は、以下の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio Professional (5.1 ch)
 - Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio Voice
- MTP接続したAndroid機器では、WAVファイル、FLACファイルは再生できません。
- 曲間(トラック間)にブランクがないCDを、WMA/MP3/AAC/WAVファイルとしてディスクに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。
- ID3 tagのVer. 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PRO フォーマットには対応していません。
- iTunes Storeで購入された楽曲(.m4p)は、CD-R/CD-RWまたはUSB機器に記録して再生できません。
- パーティションを作ったUSBメモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- 使用するUSB機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- 本機は、次の形式には対応していません。
 - Apple ロスレス・エンコーダ
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

■メディア内のフォルダー構成について

- メディア内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。(USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合は異なります。)



- 01 ~ 05 はフォルダー番号の割り当て、①~⑥は曲の再生順の例です。お客様が本機を操作してフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 1. コンピューターで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 2. それらのファイルをフォルダーに入れる。
 3. フォルダー単位でメディアにコピーする。ただしコンピューターの環境によっては、この方法で指定できない場合もあります。

- WMA/MP3/AAC/WAV/FLAC ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8 階層までの WMA/MP3/AAC/WAV/FLAC ファイルの再生に対応しています。ただし階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- 再生できるフォルダー、ファイルの合計は以下の通りです。
 - CD-R/RW : 最大 99 フォルダー、最大 999 ファイル
 - USB : 最大 1 500 フォルダー、最大 15 000 ファイル

[PHONE CONNECT]の設定値と対応するソース

■ マルチディスプレイモード (Pioneer ARC) を使用していないとき

設定値	接続機器 (OS)	接続方法	ソース
[WIRED] ([IPHONE] または [OTHERS] を選択している場合)	iOS	USB	APP,iPod
		Bluetooth	—
[USB MTP](MTP) ([ANDROID] を選択している場合)	iOS	USB	APP,iPod
		Bluetooth	—
	Android	USB	USB MTP
		Bluetooth	—
[APP CONTROL](AOA) ([ANDROID] を選択している場合)	iOS	USB	APP,iPod
		Bluetooth	—
	Android	USB	ANDROID(AOA)
		Bluetooth	—
[BLUETOOTH]	iOS	USB	—
		Bluetooth	APP,iPod
	Android	USB	USB MTP
		Bluetooth	APP

■ マルチディスプレイモード (Pioneer ARC) を使用しているとき

設定値	接続機器 (OS)	接続方法	ソース
[WIRED] ([IPHONE] または [OTHERS] を選択している場合)	iOS	USB	iPod
		Bluetooth	—
	Android	USB	ANDROID (Android Music)
Bluetooth		—	
[USB MTP](MTP) ([ANDROID] を選択している場合)	iOS	USB	iPod
		Bluetooth	—
	Android	USB	USB MTP
		Bluetooth	—
[APP CONTROL](AOA) ([ANDROID] を選択している場合)	iOS	USB	iPod
		Bluetooth	—
	Android	USB	ANDROID (Android Music)
		Bluetooth	—
[BLUETOOTH]	iOS	USB	—
		Bluetooth	iPod
	Android	USB	USB MTP
		Bluetooth	ANDROID (Android Music)

ディスクについて

■取り扱い上のご注意

- ディスクは、信写記録面（虹色に光っている面）を触らないように持ってください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクにシールなどを貼らないでください。
- ディスクに市販のラベルなどを貼りつけないでください。
 - ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
 - 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。



• 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

■保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。
 - 直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。
- ディスクが反らないように、必ずケースに入れて保管してください。

■ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

■使用できないディスクについて

- 以下のようなディスクは使用しないでください。ディスクによっては、挿入または取り出しができない場合があります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。
 - DualDisc
 - 8 cm ディスク (アダプター装着時も含む)
 - CD 規格外ディスク
 - ひび、キズ、反りのある CD



- 特殊形状のディスク



- シールなどを貼ったディスク



■再生できないディスクについて

- 以下のようなディスクは、再生できないことがあります。
 - 音楽用 CD レコーダーまたはコンピューターで記録したディスク
 - ファイナライズされていないディスク
 - パケットライトで記録されたディスク
 - ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠していない CD-R/ RW/ROM ディスク

USB 機器について

- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせで使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

■本機との接続について

- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外 (USB 扇風機など) は接続しないでください。
- USB 機器を本機に接続する際は、別売の USB ケーブル (例: CD-U51E) を使用してください。USB ケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり危険です。指定の USB ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USB ハブを使用しての接続には対応していません。

■保管上のご注意

- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPhone について

■本機が対応する iPhone

- 本機は以下の iPhone に対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

Made for

- iPhone 7: Ver. 10.3.1
 - iPhone 7 Plus: Ver. 10.3.2
 - iPhone SE: Ver. 10.3.1
 - iPhone 6s: Ver. 9.3.1
 - iPhone 6s Plus: Ver. 9.3.1
 - iPhone 6: Ver. 8.3
 - iPhone 6 Plus: Ver. 8.3
 - iPhone 5s: Ver. 8.3
 - iPhone 5c: Ver. 8.3
 - iPhone 5: Ver. 8.3
- 最新の情報についてはカロッツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) でご確認ください。
 - 操作方法は、iPhone の世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。



- iPhone は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPhone を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせで使用する場合、iPhone は必ず固定してください。iPhone が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPhone の取り扱いについて詳しくは、iPhone の説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせで使用しているときに iPhone のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と

と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



それでも

直らないときは

「保証書とアフターサービス」をお読みになり、修理を依頼してください。

■ 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、1分後再接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。 前後の音量バランスの調節が適切でない。	音量を調節してください(→P12)。 正しく調節してください(→P34)。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→P34)。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(→P34)。
本機が誤動作する。 雑音が入る。	携帯電話などの電波発信機器を本機に近づけて使用している。	電波発信機器を本機から離してご使用ください。

■ ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。 放送局の電波が弱い。 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	周波数を正しく合わせてください(→P15)。 ほかの放送局を選局してみてください(→P15)。 受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください(→P15)。
FMは受信するが、AMが受信できない。 受信感度が悪い。	アンテナコントロールが接続されていない。 自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください(→P48)。 アンテナを確実に伸ばしてください。
ラジオ以外でオートアンテナが下がらない。	電源がONになっている。	電源をOFFにしてください。

■ CD、WMA / MP3 / WAV

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズや反りがある。	CDを交換してください。 良くなれば、CDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください(→P59)。
CDが自動的に出てくる。	CDに曇りや汚れがついている。 CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDの曇りや汚れをふき取ってください(→P59)。 CDのレーベル面を上にしてセットしてください。

■ AUX

症 状	原 因	処 置
音が出ない。 音が小さい。	外部機器 (AUX) の音量を下げている。 抵抗入り AUX ケーブルを使用して接続している。	外部機器 (AUX) の音量を調節してください。 抵抗なし AUX ケーブルを使用して接続してください。

■ BT AUDIO

症 状	原 因	処 置
再生できない。	Bluetooth 機器との接続が完了していない。	接続が完了してから操作してください (→P26)。
	Bluetooth 接続した携帯電話を使用中である。	同時に複数の Bluetooth 機器は使用できません。接続を切り換えてください (→P26)。
	Bluetooth 接続した携帯電話を使用後、接続終了動作が正しく行われなかった。	再度接続してください (→P26)。

こんなメッセージが表示されたら

正常に動作しないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

■ 共通のエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[AMP ERROR]	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。 エンジンスイッチをOFF → ONしてもメッセージが消えない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

■ CD、WMA / MP3 / WAVのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[ERROR-07、11、12、17、30]	CDが汚れているとき。 CDにキズやひびがあるとき。	CDの汚れをふき取ってください。 CDを交換してください。
[ERROR-15]	CD-R / CD-RWを録音しないまま使用している。	CD-R / CD-RWは、録音してからお使いください。
[ERROR-07、10、11、12、15、17、30、A0]	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
[ERROR-23]	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入した。	CDを交換してください。
[NO AUDIO]	何も録音されていないCD-ROMを挿入した。	WMA / MP3 / WAV ファイルの記録されているCD-ROM と交換してください。
[PROTECT]	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権管理 (DRM) で保護されている。	CDを交換してください。
[SKIPPED]	デジタル著作権管理 (DRM) で保護されたWMA ファイルを再生した。	デジタル著作権管理 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。

■ USBのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[CHECK USB]	USB コネクターまたはUSB ケーブルがショートした。 規定 (→P67) 以上の電流を消費するUSB 機器を接続した。	USB コネクター / USB ケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。 接続したUSB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。次に、対応するUSB 機器を接続してください。
[N/A USB]	接続されたUSB 機器が本機に対応していない。	USB Mass Storage Class 対応のUSB 機器を接続してください。
[HUB ERROR]	USB ハブを使用してUSB 機器を接続した。	本機に直接USB 機器を接続してください。
[NO AUDIO]	何も収録・保存されていないUSB 機器を接続した。 セキュリティー機能付きのUSB メモリーを接続した。	対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存されたUSB 機器を接続してください。 USB メモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。
[PROTECT]	USB 機器内のすべてのファイルがWindows Media DRM 9 / 10 で保護されている。	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存したUSB 機器を接続してください。
[SKIPPED]	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されたWMA ファイルを再生した。	Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。 以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースをUSBに切り換えてください。
[ERROR-19]	正常に通信できない。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONする。 / 接続したUSB 機器を一度外してから接続する。 / 別のソースに切り換える。

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「ERROR-23」	接続されたUSB機器のフォーマットが、FAT32/FAT16/FAT12ではない。	フォーマットが、FAT32、FAT16、またはFAT12のUSB機器を接続してください。

■ iPodのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「CHECK USB」	iPhoneは動作するが、充電されない。	iPhoneケーブルがショートしていないか(たとえば、金属物にはさまれていないか)確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、iPhoneを一度脱着してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。 iPhoneに問題が発生した。	コネクタを一度外し、iPhoneのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPhoneが正常に動作しない場合は、iPhoneをリセットしてください。
「ERROR-16」	iPhoneソフトウェアのバージョンが古い。 iPhoneに問題が発生した。	iPhoneソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 コネクタを一度外し、iPhoneのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPhoneが正常に動作しない場合は、iPhoneをリセットしてください。
「STOP」	iPhoneに曲が入っていない。	曲が入っているプレイリストを選んでください。

■ APPのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「NOT FOUND」	iPhoneのアプリケーションが再生状態でないときに、本機でAPP操作をしようとした。	iPhoneのアプリケーションを再生状態にしてください。再生状態にしないと、本機での操作はできません。

■ Bluetoothのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「ERROR-10」	本機のBluetoothモジュールに通信できない。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。それでも正常に動作しない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
「NO SERVICE」	Bluetooth機器が本機に接続されていない。	Bluetooth機器を本機に接続してください。

■ システムのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「ERROR-RETRY」	ソフトウェアの更新に失敗した。	ロータリーコマンドを押して、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。
「FILE ERROR」	ソフトウェアの更新用ファイルが正しくない。	ソフトウェアの更新用ファイルを確認して、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

保証書とアフターサービス

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入漏れがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。

記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

■修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。(お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はおお客様ご負担となります。)

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着(お取り外し・お取り付け)について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店、または取付店にご相談ください。お車からの脱着費用につきましてはお客様のご負担となります。

■補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はバイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商標／著作権など

●本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。



□D17-0108001

●本機内蔵の通信モジュールは、電波法に基づく設計認証を取得した特定無線設備(YWX-1)を使用しています。

YWX-1



□003-150114

●WMA

Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc.の許可を得ずに使用または頒布できません。

●MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。以下放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。以下放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

Copyright (C) 1998-2009 PacketVideo Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0> Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

● T-Kernel 2.0

This product uses the source code of TKernel 2.0 under T-License 2.0 granted by T-Engine Forum (www.tron.org).

● iTunes

iTunesは、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

● FLAC

Copyright © 2000-2009 Josh Coalson
Copyright © 2011-2014 Xiph.Org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

● iPod & iPhone



iPhone、iPodは米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

日本における iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Made for Apple マークの使用に関して、パッケージ内に記してあるアップル製品に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

● Siri

Siriはマイクを通して機能します。

● Android & Google Play

Android、Google Play、Google Play ロゴは、Google Inc.の商標です。

● Bluetooth

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、BluetoothSIG, Inc.が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。

主な仕様

● 共通部

使用電源:DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式: マイナスアース方式
最大消費電流: 10.0 A
外形寸法
(取付寸法): 178 (W) mm × 50 (H) mm × 165 (D) mm
(ノーズ寸法): 170 (W) mm × 46 (H) mm × 16 (D) mm
質量: 1.0 kg (コード含まず)

● アンプ / オーディオ部

最大出力:
・ 50 W × 4 ch / 4 Ω
・ 50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch / 2 Ω
(サブウーファー使用時)
定格出力: 22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 %
THD, 4 Ω load, Both Channels Driven)
負荷インピーダンス: 4 Ω
(4 Ω ~ 8 Ω (1 ch 時は 2 Ω) 使用可能)
プリアウト最大出力レベル: 4.0 V
イコライザー (13 バンドグラフィックイコライザー)
周波数: 50Hz/80Hz/125Hz/200Hz/315Hz/500Hz/800Hz
/1.25kHz/2kHz/3.15kHz/5kHz/8kHz/12.5kHz
調整幅: ± 12 dB

<スタンダードモード>

ハイパスフィルター

周波数: .. 25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/63Hz/80Hz
/100Hz/125Hz/160Hz/200Hz/250Hz
スロープ: -6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct,
-24dB/oct, OFF

サブウーファー / ローパスフィルター

周波数: .. 25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/63Hz/80Hz
/100Hz/125Hz/160Hz/200Hz/250Hz
スロープ: -6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct,
-24dB/oct, -30dB/oct, -36dB/oct, OFF
調整幅: -24 dB ~ + 10 dB (1dB/Step)
位相: NORMAL / REVERSE
スピーカーレベル: .. -24 dB ~ + 10 dB (1dB / Step)
タイムアライメント: 0 ~ 350 cm (2.5cm / Step)

<ネットワークモード>

ハイパスフィルター (HIGH)

周波数: .. 1.25kHz/1.6kHz/2kHz/2.5kHz/3.15kHz
/4kHz/5kHz/6.3kHz/8kHz/10kHz/12.5kHz
スロープ: -6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct,
-24dB/oct

ハイパスフィルター (MID)

周波数: .. 25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/63Hz/80Hz
/100Hz/125Hz/160Hz/200Hz/250Hz
スロープ: -6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct,
-24dB/oct, OFF

ローパスフィルター (MID)

周波数: .. 1.25kHz/1.6kHz/2kHz/2.5kHz/3.15kHz
/4kHz/5kHz/6.3kHz/8kHz/10kHz/12.5kHz
スロープ: -6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct,
-24dB/oct, OFF

サブウーファー

周波数: .. 25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/63Hz/80Hz
/100Hz/125Hz/160Hz/200Hz/250Hz
スロープ: -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct,
-30dB/oct, -36dB/oct, OFF
調整幅: -24 ~ + 10dB (1dB/Step)
位相: NORMAL / REVERSE
スピーカーレベル: -24 ~ + 10dB (1dB / Step)
タイムアライメント: 0 ~ 350 cm (2.5cm/Step)

● CD プレーヤー部

形式: コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク: コンパクトディスク
信号フォーマット
サンプリング周波数: 44.1 kHz
量子化ビット数: 16 ビット直線
周波数特性: 5 Hz ~ 20 000 Hz (± 1 dB)
S/N比: 94 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミックレンジ: 92 dB (1 kHz)
チャンネル数: 2 (ステレオ)
MP3 デコーディングフォーマット: MPEG-1 &
MPEG-2 AUDIO LAYER-3
WMA デコーディングフォーマット: Ver. 7, 8, 9,
9.1, 9.2 (2 ch audio)
AAC デコーディングフォーマット: MPEG-4 AAC
(Ver. 10.6 以前の iTunes でエンコードされたもののみ)
WAV シグナルフォーマット: Linear-PCM

● USB 部

USB 規格: USB 2.0 Full Speed
最大供給電流: 1.5 A
USB プロトコル: MSC (Mass Storage Class),
MTP (Media Transfer Protocol),
AOA (Android Open Accessory) 2.0
ファイルシステム: FAT12, FAT16, FAT32
MP3 デコーディングフォーマット: MPEG-1 &
MPEG-2 AUDIO LAYER-3
WMA デコーディングフォーマット: Ver. 7, 8, 9,
9.1, 9.2 (2 ch audio)
AAC デコーディングフォーマット: MPEG-4 AAC
(Ver. 10.6 以前の iTunes でエンコードされたもののみ)
FLAC デコーディングフォーマット:
v1.2.1 (Free Lossless Audio Codec)
WAV シグナルフォーマット: Linear-PCM

● FM チューナー部

受信周波数帯域: 76.0 MHz ~ 99.0 MHz
実用感度: 11 dBf (1.0 μV/75 Ω, モノラル, S/N: 30 dB)
S/N: 65 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率: 0.3 % (65 dBf 入力, 1 kHz, ステレオ)
0.1 % (65 dBf 入力, 1 kHz, モノラル)
周波数特性: 30 Hz ~ 15 000 Hz (± 3 dB)
ステレオセパレーション: 45 dB (65 dBf 入力, 1 kHz)

● AMチューナー部

受信周波数帯域：..... 522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度：..... 25 μ V (S/N: 20 dB)
S/N: 60 dB (IHF-A ネットワーク)

● Bluetooth部

Bluetoothバージョン：..... Bluetooth 4.0 certified
出力：..... 最大+4 dBm (Power class 2)
周波数帯域：..... 2 400 MHz ~ 2 483.5 MHz

● 付属品

コードユニット：..... 1
ハンズフリー用マイク：..... 1 式
取付ネジ類：..... 1 式
取扱説明書：..... 1
リモコン：..... 1
リチウム電池 (CR2025)：..... 1
保証書：..... 1



- ・本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- ・取扱説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

操作についてお問い合わせいただく場合は、取扱説明書の「よくあるお問い合わせ」(→P8)を一度ご覧ください。

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

- 電話 《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》
【固定電話から】 **0120-944-111**(無料)
【携帯電話・PHSから】 **0570-037-600**(ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7540(IP電話・有料)
- ファックス **0570-037-602**(ナビダイヤル・有料)
- インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

- 電話 【固定電話から】 **0120-5-81028**(無料)
【携帯電話・PHSから】 **0570-037-610**(ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7550(IP電話・有料)
- ファックス **0120-5-81029**(無料)
- インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/repair/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

- 電話 【固定電話から】 **0120-5-81095**(無料)
【携帯電話・PHSから】 **0570-057-140**(ナビダイヤル・有料)
上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7551(IP電話・有料)
- ファックス **0120-5-81096**(無料)
- インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/purpose/parts/flow/>

※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.03

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2017

<QRA3054-C>